

令和8年3月19日

世田谷区地域保健福祉審議会  
第2回高齢者福祉・介護保険部会

「各委員による実践活動を踏まえた計画策定への意見について」

各委員からの提出資料

飯田委員	…P. 2
岩波委員	…P. 3～
並木委員	…P. 10
三浦委員	…P. 11～
篠崎委員	…P. 17～
井口委員	…P. 24～
山口委員	…P. 31～
長富委員	…P. 60～
小林委員	…P. 67
田中委員	…P. 68～
相川委員	…P. 79～
馬場委員	…P. 96～

※部会終了後、資料の追加・加工、ページ番号の修正を行っています。

## 所属団体 概要

### 委員名

飯田育代

### 所属団体名

町総連 船橋会

### 所属団体の業務概要（沿革・組織・基本理念・その他特長など）

小田急線千歳船橋駅の北側に位置する船橋会は昭和29年に設立

世田谷区船橋1丁目から4丁目と7丁目、総世帯数8,000、  
人口約17,000人、町会加入世帯3,000 45の部 280の組  
常任役員 23人

総務会計・防火防災部会・防犯交通安全部会・環境衛生部会・健康福祉部会  
女性部会・広報部会・交流事業部会の8の部会で活動している

会員相互の理解と協調により、安心安全な住みよいまちづくりを目的として  
いる。

近年、高齢者が増え、回覧板を回せないとか、順番に回ってくる役ができない  
ということで町会を辞めたいという人が、毎年何人かいらっしゃる。  
ひとり暮らし、空き家、高齢化の問題はたくさんあります。

どうやって、つながりを持ち、この町に住んでよかったと思ってもらえるかが  
今の課題です。

今、区立小学校、中学校が地域とつながり、子どもたちを育てようと取り組み  
をされていますが、高齢者とつながることで、お互いが楽しく学びあえる生活  
ができるのではと模索中です。

核家族が増える中、おじいちゃんおばあちゃんと接することで、子どもたちの  
親からだけではできない、愛情や知恵を与え、受取ることができたなら日本の  
未来は明るいと思うのです。

# 「社会福祉協議会について」

令和 8 年 3 月 1 9 日 ( 木 )

社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会  
副会長 岩 波 京 子

## 1. 世田谷区社会福祉協議会について

### ■昭和27年

- 世田谷（現北沢含む）・玉川・砧（現烏山含む）の3地域でそれぞれ社会福祉協議会が設立された。※当時の名称は、世田谷地区社協、玉川地区社協、砧地区社協
- 民生委員（現民生委員・児童委員）と町会／自治会関係者等が中心となって組織された。

### ■昭和58年

- 当時の社会福祉事業法（現：社会福祉法）の改正により“1区市町村1社協の原則”が敷かれる。

### ■昭和61年

- 世田谷では、3社協（前掲）の合併により、現在の（社福）世田谷区社会福祉協議会として発足した。

※社会福祉法第109条（市町村社協関係条文）第1項に「～地域福祉の推進を目的とする団体であって～」と規定されている社会福祉法人である。

## 2. 身近な地区での住民の絆…地域の支えあい活動

- 身近な地域における集いの場として、地域住民によって運営されている自主的な活動。
- ふれあいいきいきサロン、支えあいミニデイ、子育てサロンの3つの種別がある。
- 身近な地域における児童や親子の居場所として、子ども食堂も支援している。

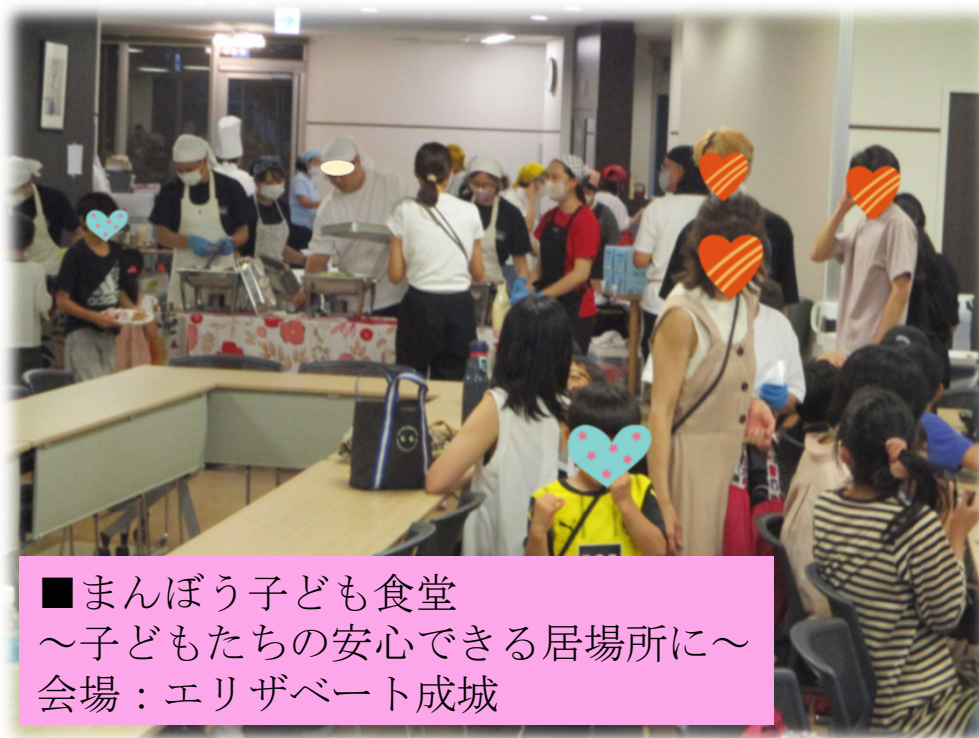
活動種別	内容	グループ数
ふれあいいきいきサロン	『楽しく気軽に無理なく』を合言葉に、お茶とおしゃべり、手工芸やゲームなどを楽しむ仲間づくりの場。	532
支えあいミニデイ	サロンの要素に介護予防効果を加味した活動で、軽体操を盛り込み、開催頻度・時間を拡大。	46
子育てサロン	サロンの子育て版。親子で参加し仲間づくりや情報交換、先輩お母さんなど世代交流も広がる。	78
子ども食堂	『孤食』や経済的理由による『欠食』の状況にある子たちを念頭に、安心できる居場所として、無料または安価な料金で食事の提供などを行う。	100 ※地区担当が把握している数

※令和7年12月末現在数

砧地域でのサロン・子ども食堂活動風景



■グループ魔法の手  
～手先を使って、楽しく交流～  
会場：成城ふれあいの家



■まんぼう子ども食堂  
～子どもたちの安心できる居場所に～  
会場：エリザベート成城

### 3. 生活支援サービスと集いの場づくりの取り組み →新たな集いの場づくりに向けて

- 買い物不便地域における移動販売の開催
- 移動販売会をきっかけにした集いの場づくり

## 移動販売一覧

令和7年10月1日現在

みんなおいでよ!

# 移動販売

## 実施しています!

世田谷区社会福祉協議会では、まちづくりセンター、あんしんすこやかセンター、児童館と連携しながら区内28か所にある「福祉の相談窓口」で相談をお受けしています。

その中で「高齢になり、歩いて買い物に行くことが難しくなってきた」「子連れて重いものが持ち帰れない」など、買い物に関するお困りごとの声を多く聞きます。こうしたお困りごとについて、住民や関係機関等の皆さまと話し合い、解決策のひとつとして移動販売の取り組みが各地でスタートしています。

どなたでもご利用いただけます。ぜひお越しください!

新鮮野菜  
便利なお惣菜

かさばる日用品

重いもの

世田谷区 社会福祉協議会  
● 支えあい ● 心をつなぐ ● 合い言葉 ●

### 移動販売一覧

令和7年10月1日現在

会場	開催日・時間	協力	問い合わせ先 (社会福祉協議会地区事務局)	
池尻2丁目アパート8号棟前 (池尻2-2-9)	毎週火曜日 15:00~16:00	セブンイレブン	090-9818-3040 (池尻地区)	
教育総合センター正面玄関前 (若林5-38-1)	毎週月曜日 12:00~13:30 (祝日休み)		070-3946-9786 (若林地区)	
下馬2丁目アパート (下馬2-33)	毎週木曜日 13:30~15:00		070-3946-9789 (野沢・下馬地区)	
上野毛リッツハウスC棟前 (野毛3-18-3)	毎週金曜日 11:30~12:00	いなげやとくし丸	070-3946-9799 (上野毛地区)	
野毛区民集会所横 (野毛2-4-4)	毎週金曜日 12:00~12:30		090-9818-3740 (用賀地区)	
都営野毛1丁目アパート (野毛1-24-1)	毎週金曜日 12:35~13:00		080-7738-7699 (二子玉川地区)	
区営上用賀5丁目アパート (上用賀5-14-1)	毎週火曜日 13:30~14:00頃		090-9818-3740 (用賀地区)	
区営玉川3丁目アパート (玉川3-27-1)	毎週月・木曜日 12:00頃		080-7738-7699 (二子玉川地区)	
グループホーム花物語せたがや西 (祖師谷6-5-31)	毎週火・金曜日 12:00~13:00		070-3946-9801 (祖師谷地区)	
カーメスト大蔵の社6号棟 (大蔵3-1-6)	毎週月曜日 15:30~16:30		080-9418-7736 (砧地区)	
カーメスト大蔵の社9号棟 (大蔵3-3-9)	毎週火曜日 15:30~16:30			
宇奈根ふれあいの家 駐車場 (宇奈根1-38-2)	毎月第4木曜日 13:30~14:30		魚春(魚屋)	070-3946-9804 (喜多見地区)
粕谷2丁目アパート 集会室 (粕谷2-19)	毎月第3金曜日 11:00~13:00		ローソン	070-3946-9805 (上祖師谷地区)

※会場により、販売している商品は異なります。

移動販売の最新情報は  
こちら↓

会場	開催日・時間	協力	問い合わせ先 (社会福祉協議会地区事務局)	
池尻2丁目アパート8号棟前 (池尻2-2-9)	毎週火曜日 15:00~16:00	セブンイレブン	090-9818-3040 (池尻地区)	
教育総合センター正面玄関前 (若林5-38-1)	毎週月曜日 12:00~13:30 (祝日休み)		070-3946-9786 (若林地区)	
下馬2丁目アパート (下馬2-33)	毎週木曜日 13:30~15:00		070-3946-9789 (野沢・下馬地区)	
上野毛リッツハウスC棟前 (野毛3-18-3)	毎週金曜日 11:30~12:00	いなげやとくし丸	070-3946-9799 (上野毛地区)	
野毛区民集会所横 (野毛2-4-4)	毎週金曜日 12:00~12:30		090-9818-3740 (用賀地区)	
都営野毛1丁目アパート (野毛1-24-1)	毎週金曜日 12:35~13:00		080-7738-7699 (二子玉川地区)	
区営上用賀5丁目アパート (上用賀5-14-1)	毎週火曜日 13:30~14:00頃		090-9818-3740 (用賀地区)	
区営玉川3丁目アパート (玉川3-27-1)	毎週月・木曜日 12:00頃		080-7738-7699 (二子玉川地区)	
グループホーム花物語せたがや西 (祖師谷6-5-31)	毎週火・金曜日 12:00~13:00		070-3946-9801 (祖師谷地区)	
カーメスト大蔵の社6号棟 (大蔵3-1-6)	毎週月曜日 15:30~16:30		080-9418-7736 (砧地区)	
カーメスト大蔵の社9号棟 (大蔵3-3-9)	毎週火曜日 15:30~16:30			
宇奈根ふれあいの家 駐車場 (宇奈根1-38-2)	毎月第4木曜日 13:30~14:30		魚春(魚屋)	070-3946-9804 (喜多見地区)
粕谷2丁目アパート 集会室 (粕谷2-19)	毎月第3金曜日 11:00~13:00		ローソン	070-3946-9805 (上祖師谷地区)

※会場により、販売している商品は異なります。

移動販売の最新情報は  
こちら↓

## 砧地域における買物支援と集いの場づくり



■ 移動販売の開催と  
集いの場「北部すみれ」の開催  
会場：グループホーム花物語  
せたがや西  
主催：祖師谷北部ふくし検討会



お買い物にお困りではありませんか？



毎週 火曜・金曜

12時30分頃～13時

花物語せたがや西 様にお伺いいたします

音楽を鳴らして伺います ♪  
とっくとっくとーく とくし丸♪



会費・登録料は不要、どなたでもご利用可能  
野菜、果物、お肉、お魚、お惣菜、お菓子、日用品  
商品を見てお買い物できます

※いなげやの店頭価格にガソリン代の補助として  
1品につき+22円を皆様にご負担していただいております



場所：花物語せたがや西  
祖師谷6-5-31  
\*くるりんバス「祖師谷六丁目三叉路」  
バス停すぐ

《お問い合わせ》  
祖師谷北部ふくし検討会  
社会福祉協議会祖師谷地区事務局  
電話：070-3946-9801



ご清聴いただき  
ありがとうございました



## 所属団体 概要

### 委員名

並 木 正 道

### 所属団体名

世田谷区民生委員児童委員協議会

### 所属団体の業務概要（沿革・組織・基本理念・その他特長など）

民生児童委員は厚生労働大臣から委嘱される非常勤の地方公務員（特別職）です。給与の支給はなくボランティアとして活動していて、任期は3年です。担当の区域において一人暮らしの高齢者等の訪問、見守り、こどもたちへの声かけなどを行っています。

地域の身近な相談相手として、住民の立場に立ち一人ひとりに寄り添いながら、健康や介護の悩み、妊娠や子育ての不安、失業や経済的困窮による生活上の困難など様々な相談に応じています。相談内容に応じて必要な支援が受けられるよう、地域の専門機関へつないでいきます。現在世田谷区では約600人超の委員が活動しています。

## 所属団体 概要

### 委員名

三浦 晴美

### 所属団体名

青空サロン

### 所属団体の業務概要（沿革・組織・基本理念・その他特長など）

#### 業 務 概 要

##### 所属団体のご紹介（目的や活動内容等）

私の所属する青空サロンは「地域サービス」と言っており、世田谷区の高齢福祉部介護予防・地域支援課が担当の「介護予防日常生活支援総合事業」の1つです。

デイサービスと名がついていますが、介護保険制度対応のデイサービスではありません。

住民主体で運営をしておりまして、「通いの場」を高齢者に提供しております。

この「地域デイサービス」略して、「地域デイ」という活動は、平成28年4月に開設され、区内に現在、22ヶ所の地域デイの拠点がございまして。

住民主体であります事から、活動内容は、運営リーダーが主体となり決めておりますので、団体によって、特徴や個性により、内容にそれぞれ違いがあります。ただ、地域デイ共通のコンセプトといたしまして、「体操を取り入れる」・「昼食をともにする」というこの2点はどこの地域デイでも共通して取り入れております。

私どもの「青空サロン」は、常時4名の運営リーダーと、参加者には増減はありますが、現在は5～8名位で行っております。運営リーダーの中の1人が担当し、週ごとに違った内容でプログラミングをしています。昼食はセブンイレブンの宅配を利用しています。

#### 沿 革

平成30年の2月、世田谷区の「区のお知らせ」区報に掲載されておりました

「住民主体の地域デイサービス」の紹介記事を見て、「住民主体」という言葉に心を動かされまして、区に問い合わせを致しました。そして、区の世田谷区高齢福祉部介護予防・地域支援課が開催しました、平成29年度・地域デイサービスの「運営リーダー向け研修」を受け、修了いたしまして、運営リーダーとなり、地域デイサービス・青空サロンの開催に向け準備に取り掛かりました。

※ 地域デイサービスとは、住民同士の支えあいの考え方を基本に、住民やNPO法人が運営する介護予防を目的とした「通いの場」です。

## 組 織

- \* H30.7月、初回青空サロン開催～H30.12月：  
運営リーダー3名・支援者1名、
- \* H31.1月～H31.4月、R1.5月～R2.2月：  
運営リーダー4名・支援者1名、
- \* R4.1月～ 運営リーダー5名・支援者1名
- \* 参加者：  
要支援者1名・一般参加者1～2名からのスタート。
- \* 毎週月曜日（月・4回、5週目は休み）10：30～14：30  
上馬高齢者集会所 2F

## 基本理念： 元気になる・たのしいサロンが目標！

要支援者のみならず、支援予備軍や“まだ若い”方々にも広く参加をして頂き、地域の人たちで、地域のお年寄りを見守り、お年寄りが、住み慣れた場所で楽しく・長く、暮らして行くことが出来る為の居場所づくり、又、地域の方達に末永く引き継いで行って欲しい居場所づくり。

## サロン参加者要件：

- \* 送迎がいない。
- \* 排泄時、介助がいない。
- \* ご本人・ご家族の意向である方。

## コロナ対応期間の活動：

- \* R2.3月～R2.6月まで休会（緊急事態宣言発令）3ヶ月半
- \* R2.6月～R3.4月まで再開（昼食なし）
- \* R3.5月休会（緊急事態宣言発令）1ヶ月
- \* R3.6月～R3.11月まで再開（昼食なし）
- \* R3.11.8～R3.11.22月～（昼食あり）
- \* R3.12月～R4.3月まで（昼食なし）（蔓延防止等重点措置）
- \* R4.4月～R4.7月まで（昼食あり）
- \* R4.8月（8/1だけ休会）～（昼食なし）
- \* R4.9月～（昼食あり）

以 上

地域サービス

あおぞら

青空サロン

こちらの2階 和室

月曜日 10時～13時

# 世田谷区 地域デイサービス 青空サロン

青空サロンは、生まれて8年経ちます。



少人数ですが、楽しいサロンになっています。

体操や歌やゲームや、おしゃべりをして・・・

健康寿命を伸ばしませんか？

なかまの輪を広げましょう！！



**元気になる・たのしいサロンが、目標！**

☆ 曜日 : 月曜日 10:30 ~ 13:30

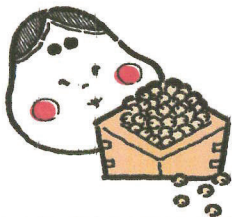
☆ 参加費 : 300円+お弁当代(約500円)

☆ 場所 : パンダ広場の前、デイホーム上馬2階

☆ 主な活動内容 : ゲーム・おでかけ・体操  
発声&合唱・脳トレ・ランチ&おしゃべり

お問い合わせ : 三浦 

★地域デイサービスは世田谷区が実施する、介護予防日常生活支援総合事業の一つです。



# 青空サロン



【令和 8 年 2 月の予定表】

【令和 8 年 3 月の予定表】

		10:30~11時	11時 ~ 13:30			10:30~11時	11時 ~ 13:30
2日	第 1月曜	出席確認 バイタルチェック (血圧測定)	★ ゲーム 何しましょう!! ランチ & おしゃべり	2日	第 1月曜	★ 外出 & 外食 どこに行こう? 何食べましょうかね?	
9日	第 2月曜	//	★ ウクレレ・歌 (オルト*・ハワイヤンズ*) ランチ & おしゃべり ★ 音楽 60分 (発声 & 歌)	9日	第 2月曜	出席確認 バイタルチェック (血圧測定)	★ ウクレレ・歌 (オルト*・ハワイヤンズ*) ランチ & おしゃべり ★ 音楽 60分 (発声 & 歌)
16日	第 3月曜	//	★ ジャイロ体操 60分 ランチ & おしゃべり 脳・ト・レ	16日	第 3月曜	//	★ ジャイロ体操 60分 ランチ & おしゃべり 脳・ト・レ!
23日	第 4月曜 天皇誕生日	//	★ プチアート (簡単で素敵な物を作しましょう。) ランチ & おしゃべり お三味線	23日	第 4月曜	//	★ プチアート (簡単で素敵な物を作しましょう。) ランチ & おしゃべり お三味線
※ 一緒に、ランチしましょう!				30日	第 5月曜	お 休 み	

※ マスク・マイボトル (お水・お茶) 忘れないで...

※ 4 月の予定 : 6日、13日、20日、27日、月曜日 10:30~13:30

※ お問い合わせ : 三浦 XXXXXXXXXX



# 青空サロン

## お散歩



5月20日 11時 小泉公園集

バス → 弦巻営業所(終点)

歩き → 中央図書館

12時 : ランチ(中央図書館 レスト)

13時~14時 :

歩き → 弦巻営業所(始

バス → 小泉公園

14時30分 : 解散



レッツ・ゴー!

## お出かけ

10月21日 10時 パンダ公園 集合

バス(駒留) → 三軒茶屋

10:21 発 → 10:27 着

歩き → キャロットタワー

12時 ~13時 ランチ

バス(三軒茶屋) → 向橋

13:26 発 → 13:30 着

13時30分 : パンダ公園 解散



レッツ・ゴー!

## 所属団体 概要

### 委員名

篠崎 広一

### 所属団体名

社会福祉法人奉優会 代沢あんしんすこやかセンター

### 所属団体の業務概要（沿革・組織・基本理念・その他特長など）

#### 【沿革】

平成 11 年 11 月 15 日 社会福祉法人奉優会 設立  
平成 12 年 6 月 1 日 代沢在宅支援センター開設  
平成 18 年 4 月 1 日 代沢地域包括支援センター開設  
令和元年 9 月 1 日 一体化整備方針により、代沢まちづくりセンター内に移転。  
あんしんすこやかセンター、まちづくりセンター、社会福祉協議会と 3 者で福祉の相談窓口として運営

#### 【組織概要】

社会福祉法人奉優会は、平成 11 年に「新しく夢のある社会を、住み慣れた地域に創ること」を理念として設立され、介護・医療・福祉・人材が一体となった包括的な高齢福祉サービスの提供を目的に、世田谷区内で事業運営を開始しました。

現在は、東京都内および近郊県において多機能福祉拠点を展開し、地域包括ケアシステムの推進や地域密着型サービスへの積極的な参入を通じて、地域福祉の向上に寄与しています。

世田谷区内では、現在 24 か所の事業所を運営しています。

特別養護老人ホーム：5 か所

デイサービス：3 か所

グループホーム：4 か所

小規模多機能型居宅介護：3 か所

看護小規模多機能型居宅介護：5 か所

地域包括支援センター：3 か所

居宅介護支援事業所：2 か所

老人福祉センター：1 か所

また、地域包括支援センターにつきましては、平成 18 年 4 月より運営を開始し、現在は東京都内を中心に 17 か所を運営しています。世田谷区内では、代沢・奥沢・深沢の 3 地区において運営を行っており、区政方針を踏まえた地域

包括ケアの推進および地域特性への理解を深めながら、地域住民の皆さまや関係機関と連携した支援体制の構築に取り組んでいます。

### 【法人理念】

Action by Glocalization HOUYUKAI

地球規模で考え、足元から行動する社会福祉法人となるため、やりたいことで圧倒的な価値を生み出し、「地域の人々が育つことで、生活が革新する」という仕組みを世界で発信していきます。

### 【地域包括支援センタービジョン】

伴走型支援と地域プラットフォーム形成支援の実現

地域の身近な相談機関として、重層的な支援体制を確立し、地域の福祉保健活動と連動しながら「人と人がつながる」事業を提供します。

### 【代沢あんしんすこやかセンターの特徴】

#### 1. 代沢地区の状況

高齢者人口 3,536 人（28 地区中 28 番目、烏山地区 14,037 人）

高齢化率 20.1%（28 地区中 18 番目、成城地区 27.5%）

地域特性は7つの町会・自治会があり、区平均よりも高い加入率となっています。民生・児童委員の活動も、一例としてフレイル予防の体操チラシを自主的に作成し熱心に行われています。民生・児童委員からあんしんすこやかセンターへの情報提供など連携する機会も増えています。

また、6つの高齢者クラブがあり、代沢東地区会館・代沢地区会館・代沢まちづくりセンター活動フロア等を利用して、健康体操やサロンなど活動されている。

#### 2. 職員体制 8名（主任介護支援専門員1名、社会福祉士1名、保健師4名、介護支援専門員2名）

#### 3. 地域特性を踏まえた主な取組

地域の実態把握をもとに以下の取組を推進しています。

- ・前期・後期高齢者を対象とした介護予防
- ・多世代を対象とした相談支援
- ・見守りボランティア支援
- ・学校や地域団体との連携による地域づくり
- ・防犯・見守り啓発活動
- ・多職種協働によるネットワーク構築

そして四者連携による地域課題の把握・共有を行い、地域全体で支え合い、安心して暮らせる体制づくりを行っています。

## 1、担い手不足

### 【実践活動から感じる課題】

地域の行事や日常的な支援活動を通じて、さまざまな世代の住民の方々と関わる中で、「地域を支える人が減ってきている」「昔のように担い手が集まらず困っている」といった声を聞く機会が増えています。

実際に、自治会運営や行事の準備、見守り活動など、地域を維持するために必要な役割を担う人材が不足しており、一部の住民が複数の役割を担っている状況も見受けられます。このような状況から、地域活動の継続性や負担の偏りに対する課題が顕在化していると感じています。

あんしんすこやかセンターにおいても、65歳到達者や独居・高齢者のみ世帯を対象とした実態把握を行う中で、地域活動への参加促進やボランティアの発掘・育成に取り組んでいますが、地域全体として担い手を育てていく仕組みの強化が必要であると考えています。

### 【課題解決に向け、計画に盛り込むべきと考える意見】

こうした現状を踏まえ、地域の担い手不足という課題に対応するためには、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会、まちづくりセンター、児童館による四者連携をこれまで以上に強化し、地域課題を共有しながら一体的に取り組む体制づくりが重要であると考えます。

また、担い手確保に向けては、以下のような取組の推進が必要と考えます。

「地域支え合い推進事業」等の周知・PRの強化

住民が気軽に参加できるボランティア育成講座の実施

地域活動説明会など参加の入口となる機会の充実

多世代が関わりやすい活動機会の創出

さらに、地域現場の取組を継続的に支えるためには、世田谷区によるルール整備、制度設計、補助制度の充実、公共サービスとの連動など、行政による支援の強化も重要であると考えます。

これらの取組を推進するため、第10期計画においては、世田谷区と地域の四者が協働しながら、地域の担い手を育て、支える仕組みづくりを進めていく視点を盛り込んでいただきたいと考えています。

## 2、権利擁護

### 【実践活動から感じる課題】

地域包括支援センターとして日々地域の高齢者の方々と接する中で、権利擁護や虐待防止に関する相談を受けることが多くあります。

高齢者の方々からは、「もっと早く相談できる仕組みはないのか」「区の担当部署と話がつながらず困っている」といった声をいただくこともあり、私自身もそのお話を伺う中で、地域包括だけでなく区職員とも一緒に知識を深め、必要なときに迅速に連携できる体制づくりの重要性を強く感じているところです。

### 【課題解決に向け、計画に盛り込むべきと考える意見】

こういった現状を踏まえ、あんしんすこやかセンターと保健福祉課との連携強化であったり、権利擁護に関する各種事業のPR、虐待対応における情報共有体制の充実などが必要であると考えています。

また共通認識を持つために

#### ①権利擁護・虐待対応の「共通フロー」を作る

- ・相談受付 → 初期アセスメント → リスク評価 → 役割分担 → 対応 → 振り返り
- ・これを包括と区職員で共通化すると、迷いが減り、対応が早くなる
- ・特に重要なのは「どの段階で誰にエスカレーションするか」を明確にすること

#### ②情報共有のルール整備

- ・虐待対応は個人情報の壁が大きいので、共有ルールを先に作ると動きやすい
- ・緊急時の情報共有範囲
- ・区職員と包括の“最低限共有すべき情報”
- ・記録の残し方
- ・「虐待対応専用の共有シート」等を作ると実務がスムーズ

#### ③連携窓口の明確化

- ・複雑なケースや区の複数部署にまたがるケースについて、高齢者虐待は、行政が責任主体として対応することを前提に、区とあんしんすこやかセンターが役割を明確にしながら連携できる体制づくりが重要であると考えます。また、あんしんすこやかセンターにおいても、特定の担当者に業務が集中し抱え込むことのないよう、管理者を含めた複数職員による組織的な対応体制を整え、ケースを共有しながら支援方針を検討できる仕組みが必要であると考えます。

これらの取り組みについて、第10期計画には世田谷区とあんしんすこやかセンターが協力して進めていけるよう、ぜひ盛り込んでいただければと思います。

### 3、移動支援

#### 【実践活動から感じる課題】

地域の高齢者の方々と日々関わる中で、多くの方から「通院したいが交通手段がなく困っている」「地区会館に行きたいが移動手段がないため参加できない」といった声を伺うことが多くあります。

こうしたお話を聞くたびに、公共交通機関や移動手段の不足が外出の機会を大きく制限しており、安心して地域のサービスを利用できる環境づくりの必要性を強く感じているところです。

#### 【課題解決に向け、計画に盛り込むべきと考える意見】

このような現状を踏まえ、移動に関する課題の解決に向けては、地域内における移動支援サービスの充実や、移動支援に関する情報提供の強化、さらに地区会館や医療機関による出張サービスの推進、各町会や地区会館を結ぶ循環バスや地区内の乗り合い自動車などが必要であると考えています。

また、こうした取組を持続的に進めるためには、地域住民や自治会との協働体制の構築に比べ、公共交通のあり方について行政と連携しながら検討を進めていくことが重要であると考えます。

第10期計画には、これらの取り組みについて区やあんしんすこやかセンター、四者協力して進めていける方向性を示していただきたいと考えます。

#### 4、介護予防と地域づくり

##### 【実践活動から感じる課題】

実態把握や地域活動を通じて、地域の高齢者の方々と日々接しています。その中で、「運動できるような場があれば参加したい」「昔から住んではいるが近所や地域と関わりたくない」といった声を伺うことが多くあります。

こうした声を聞くたびに、従来の地縁組織に参加していない方や、事情があって参加できない方に対しても、安心して暮らし続けられるような見守りや社会参加の仕組みが必要だと強く感じています。

特に、地域には

- ・ 仕事や家庭の事情で自治会活動に関われない方
- ・ 引っ越してきたばかりでつながりがない方
- ・ 人付き合いが苦手で集まりに参加しづらい方
- ・ 身体的・心理的な理由で外出が難しい方
- ・ 誰とも関わりたくなくオートロックマンションに住んでいる方

など、多様な背景を持つ住民がいます。

こうした方々は、地域の情報が届きにくかったり、困りごとを相談する相手がいなかったりと、孤立につながるリスクが高いと感じています。

そのため、地縁組織に依存しない「ゆるやかなつながり」や「誰でも参加しやすい場づくり」、そして「見守りの目が自然に届く関係づくり」が、これからの地域づくりには欠かせません。例えば、気軽に立ち寄れる交流の場や、オンラインを活用した情報共有、個々の状況に合わせた参加の仕方を認める柔軟な仕組みなどが求められています。

高齢者の方々から寄せられる日々の声を受け止めながら、地域の誰もが無理なく関われる仕組みを整えていくことが、介護予防や地域の支え合いの基盤になると感じています。

##### 【課題解決に向け、計画に盛り込むべきと考える意見】

こういった現状を踏まえ、あんしんすこやかセンターと社会福祉協議会との連携をより強化し、地縁組織に入れない方・入らない方にも支援が届く体制を広げていくことが重要であると考えています。

また、「介護予防・日常生活支援総合事業（通称：総合事業）」のさらなるPRや、誰もが参加しやすい「地域サロン」や「通いの場」の充実を図ることで、地域のつながりが薄い方にも自然な形で見守りや社会参加の機会を提供できるようにしていく必要があります。

そのため、第10期計画には、これらの取り組みを世田谷区、まちづくりセンター、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会、児童館の4者連携、民生委員児童委員協議会、NPO法人、自治体委託団体などが協力して進めていくことを盛り込んでいただき、地域の誰もが安心して暮らし続けられる仕組みづくりを一層推進していければと考えています。

## 5、地域包括のシャドーワーク

### 【実践活動から感じる課題】

私は、地域包括支援センターでの総合相談や個別支援、地域の見守り活動などを通じて、日々多くの高齢者の方々と関わっていますが、その中で高齢者の方々からは、「介護保険のサービスにつながるほどではないけれど、買い物や通院の付き添いを手伝ってくれる人はいないのか」といった相談や、「家族と疎遠で、急に体調が悪くなったときに誰に連絡すればよいかわからない」「近所の方とのトラブルで困っているが、どこに相談すればよいか」といったお話をいただくことがよくあります。

また、医療機関やケアマネジャーからは、「この方は制度の狭間にいて支援が難しいので、包括でフォローしてもらえないか」といった依頼を受けることも少なくありません。

シャドーワークが生まれる要因として、①地域の高齢化・独居化の進行 ②家族機能の低下 ③行政機関の縦割り構造 ④包括なら何とかしてくれる、何かあれば包括という期待感。こうした相談や依頼を伺う中で、制度上は明確に位置づけられていない生活支援の調整や、家族の代わりとなる連絡調整、地域の見守り、関係機関との橋渡しなど、いわゆる“シャドーワーク”と呼ばれる業務の必要性を強く感じているところです。

### 【課題解決に向け、計画に盛り込むべきと考える意見】

こういった現状を踏まえ、地域の中で支援が分散しないように世田谷区の各機関やあんしんすこやかセンター、介護支援専門員やサービス事業所との連携をこれまで以上に強化し、制度の狭間にいる方への支援が包括に過度に集中しない体制づくりが必要であると感じています。

また、横断的な支援体制を確保することができる重層的支援体制整備事業のPRをより進め、地域住民や関係機関に対して利用できる支援の選択肢を広く知っていただくことも重要だと思っています。

さらに、地域の見守り体制や相談支援の仕組みを充実させ、家族機能が弱まっている高齢者の方々を地域全体で支える環境づくりを進めていく必要があると考えています。

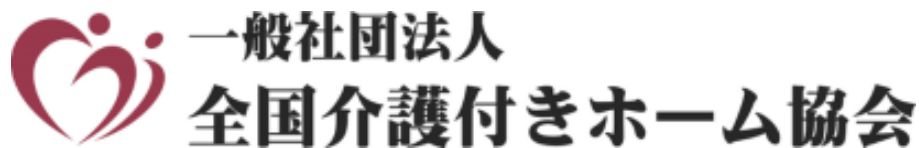
こうした取組みを第10期計画の中に位置づけ、地域包括支援センターに過度なシャドーワークが集中しない仕組みづくりを進めていけるよう盛り込んでいただけたらと思います。

# 全国介護付きホーム協会の活動について



2017年6月に  
『一般社団法人全国特定施設事業者協議会』から改称

# 1. 一般社団法人 全国介護付きホーム協会（介ホ協）について①



- **目的** 事業者の相互連携による、
  - 行政当局その他関係機関との連絡調整
  - サービスの質的向上・事業運営適正化のための調査研究・研修の実施→ 「介護保険制度の下での介護付きホーム事業の健全な発展に寄与」

■ **会員数** (2025年3月31日現在)

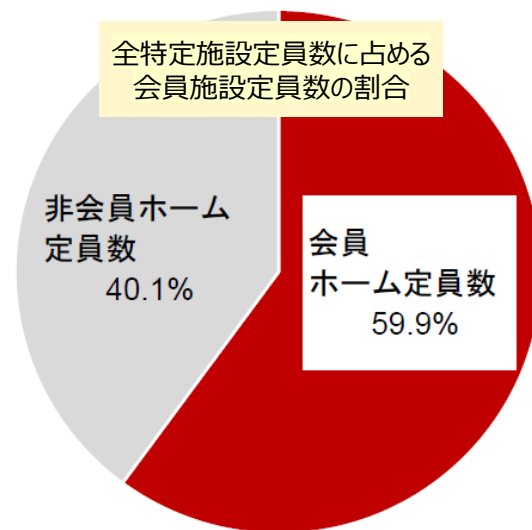
**931法人**

■ **会員ホーム数** (同)

**3,271施設** 世田谷区内 76施設

■ **会員ホーム定員数** (同)

**206,378人** 世田谷区内 4,633人



(2025年3月31日現在)

- **任意団体設立** 平成13 (2001) 年6月29日 「特定施設事業者連絡協議会」設立
- **一般社団法人化** 平成23 (2011) 年4月1日 「一般社団法人 全国特定施設事業者協議会」に改編
- **名称変更** 平成29 (2017) 年6月14日 「一般社団法人全国介護付きホーム協会」に名称変更

# 1. 一般社団法人 全国介護付きホーム協会（介ホ協）について②

品質向上、働きがい向上、持続可能性向上の3本柱による「未来へのチャレンジ」を掲げ、社会課題の解決に挑む

みんなが笑顔になれる  
介護サービスへ

**ご利用者さまの幸福を追求**

- ・より高品質な介護サービスの提供
- ・生きがいの創出

もっと働きがいを感じる  
介護業界へ

**魅力的な職場環境の創造**

- ・全産業平均給与まで処遇改善
- ・より感動できる、より価値ある仕事へ

持続可能な  
介護保険制度へ

**品質の伴った生産性向上**

- ・ICT・データの利活用
- ・人でしかできない介護に注力

具体的な推進事項例

① 介護知識・スキル向上

② 多様な人財確保（外国人・介護助手など）

③ 介護のしごと魅力発信（社会啓発）

④ 人財の育成・定着（職場環境整備）

⑤ 地域の多世代交流

⑥ 保険外サービス（外出支援など）

⑦ DX・データ活用

⑧ 業務改善（業務見える化、適切な分担）

⑨ ACP（傾聴・共感など）

★目指すのは「三方良し」の介護



★介護付きホームにおける取り組み事例



⑤ 子ども食堂



⑦ DX・データ



⑨ ACP

1

## 情報提供

### ホームページ



最新の  
行政情報  
等を発信

運営に  
関わる帳票  
や指針等を  
ダウンロード  
可能

一定範囲  
まで無料の  
法律相談を  
ご案内

運営上の  
困りごとに  
個別回答

### 会報誌の発行



年に4回発行。  
次期介護報酬改定  
等、関心の高いテ  
ーマについて解説

### 法令集等の発行



3年に1度の介護報酬改定に合わせて、  
介護付きホームに関わる法令等を発行27 >

2

### 研修・ セミナー 開催

※2025年度実績  
より一部ご紹介

#### 経営者 対象

- **人口減少経済と介護業界の展望**  
坂本貴志氏 リクルートワークス研究所 研究員
- **介護付きホームの経営戦略を考える**
  - 介護分野における経済産業省の取組  
小野聡志氏 経済産業者 ヘルスケア産業課企画官
  - 経営者が語る 実践事例  
安田雄太氏 (株)アライブメディケア 代表取締役社長  
秋山幸男氏 (株)ニチケアパレス 代表取締役社長  
山本武博氏 (株)さわやか倶楽部 代表取締役社長

#### 現場職員 対象

- **リスクマネジメント研修**
- **カスタマーハラスメント防止対策研修**
- **認知症医療の現状と今後の展望**
- **ユマニチュード®研修**
- **エンゼルケア研修**
- **接遇・マナー・おもてなし研修**
- **レクリエーション研修**
- **介護技術研修**

#### 管理者 対象

- **虐待防止研修**  
～虐待防止の徹底と身体拘束ゼロを目指して～  
吉川悠貴氏 認知症介護研究・研修仙台センター
- **人が育ち、組織が活性化するコーチング**  
～現場で使えるスキルと対話術～  
丸山法子氏 リエゾン地域福祉研究所 代表
- **新人職員を定着させる  
離職防止のための研修**  
福嶋潤一氏 ツクイスタッフ研修サービス

#### 地域連絡会（東京都内）

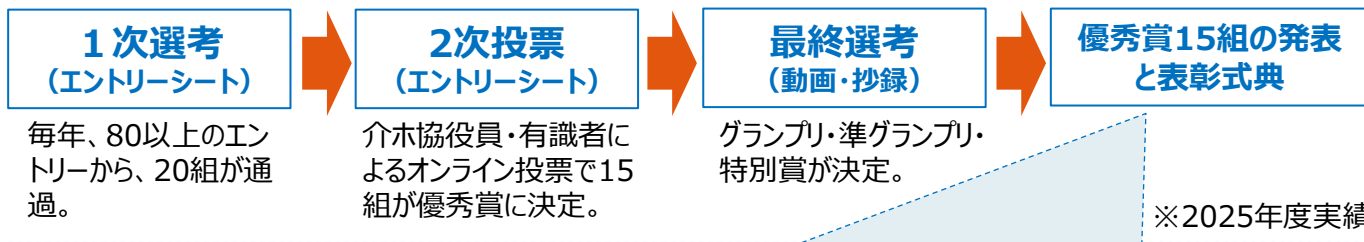
- 2025/9/30（杉並区）  
各社の生産性向上への取組の紹介  
ホーム見学&意見交換会
- 2025/12/12（三鷹市）  
やさしい介護DXで実践する生産性の取組  
ホーム見学&意見交換会
- 2026/3/6（品川区）  
未来の介護体験会&意見交換会
- 2026/3/13（港区）  
週休3日制度導入に関する意見交換会

## 3 「介護付きホーム研究サミット」 事例研究発表全国大会 開催

### 開催主旨

介護付きホームの発展と、介護サービス・ケアの質の向上を目的としています。介護現場で直面する課題を事例として捉え、専門的知識に基づく調査・分析を通じて、課題解決の糸口を導き出します。その取組を共有し合うことで、介護付きホーム全体のサービス活性化に貢献することを目指します。

### ご報告／研究サミット2025 第13回事例研究発表全国大会



### 10月27日「神田明神ホール」で開催



▲会場で行われた表彰式の様子



▲グランプリの事例



◀準グランプリの事例

# 3. 「人材確保及び育成・定着」に向けてベネッセスタイルケアとしての取り組み

## 世田谷区第9期高齢介護計画

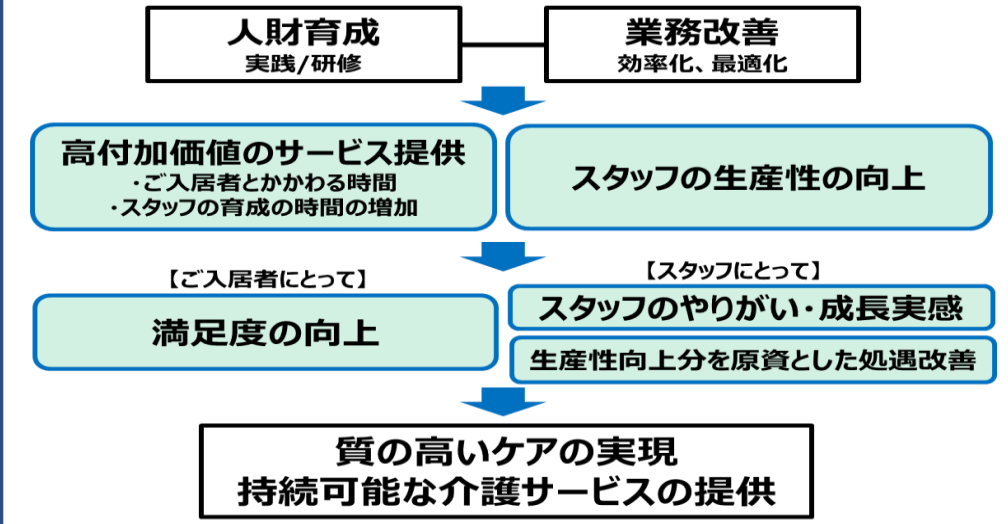
### 計画目標Ⅲ

安心して暮らし続けるための医療・介護・福祉サービスの確保を図る

- 相談支援の強化
- 在宅生活の支援と安心できる住まいの確保
- 成年後見制度の推進
- 在宅医療・介護連携の推進
- 介護人材の確保及び育成・定着支援**
- 安全・安心への取り組み

※ 地域保健福祉審議会第1回高齢介護部会資料 8頁から抜粋

## 人財育成・業務改善スキーム



## 主な実践内容

人材確保

採用  
定着

### 1) 処遇の改善

世田谷区内の施設に高い処遇を設定 都内で最も採用難のエリアであるため

### 2) 採用ターゲットの拡大

福祉系高校・専門学校・大学採用ルート強化

夜勤なし常勤介護職の導入 “夜勤なし”常勤介護職を導入し働き方の多様化

介護職以外の専門職の採用強化 介護職と比べて有効求人倍率が低いことから、コメディカル採用

生産性  
向上

サービス  
品質向上

### 3) 業務設計・人員配置の抜本的な見直し

“業務（動き）を可視化” 最適な人員配置 ケアにかかった時間を可視化 お客様のサービスに還元

ケアの難易度・付加価値に応じた役割分担

・ ケアの難易度・付加価値にあわせたシフトの設定と、役割分担の再設定により、生産性向上と付加価値向上を実現する

生産性向上機器の導入

・ 業務改善につながる各種ソリューションの導入。



### 4) 人財育成

・ 高付加価値サービスをけん引できる人材育成の促進



## 4. 実践から感じられる課題および課題解決に向け、盛り込むべきこと

これらの取り組みの実践には、投資・コストがかかり事業者へ一定の負荷がかかっている。そのため企業としての体力が求められる人材確保・育成定着の実現には、事業者により「差」が生じているのではないかと推測されます。

第9期中で取り組んでいる「さらなる介護職の魅力発信」「多様な人材確保・育成」「働きやすい環境の構築に向けた支援」について評価を行い、得た成果をもとに、第10期も継続して介護人材確保・育成定着支援について継続案件として盛り込み安定的で持続可能な供給ができるよう取り組みを深化させていく必要があると考えます。

## 所属団体 概要

### 委員名

山口 潔

### 所属団体名

玉川医師会

### 所属団体の業務概要（沿革・組織・基本理念・その他特長など）

玉川医師会は世田谷区玉川地域の救急診療、各種健康診断、在宅医療、予防接種など地域住民の健康維持に努めています。高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画においては、計画全般に関わる重要な団体であると考えています。

健康寿命の延伸については、どうすれば健康寿命が延伸するかについて、医学的立場から明らかにしなくてはならないと考えています。健康寿命を短縮する疾患は、認知症、脳血管疾患、運動器疾患（整形外科領域の疾患）です。2007年には日本整形外科学会がロコモの概念を提唱、2014年には日本老年医学会がフレイルの概念を提唱し、2022年には日本医学会総会がフレイル・ロコモ克服のための医学会宣言を発出し「80Go(ハチマルゴー)」運動を展開するとしています。一方認知症においては、認知症の原因疾患として最も多いとされるアルツハイマー病の根本治療薬が開発され、早期診断・早期治療の必要性が益々高まっています。このような背景を根拠として、玉川医師会では世田谷区医師会と連携しながら、**認知症検診、ロコモ検診、フレイル検診の3つを新しく提案**したいと考えています。すでに2024年に世田谷区ロコモ・フレイル対策協議会を設置し、長寿健診の間診票を活用したロコモ・フレイル・認知症早期対応のシステム整備を開始したという実績があります。また、医師会にはかねてより認定健康スポーツ医もおり、スポーツと連携しながら介護予防・健康寿命延伸を展開していくことを提案します。

高齢者の活動と参加を促進することにおいては、プライマリ・ケア連合学会（総合診療科医の学会）などにおいて、**社会的処方**が話題となっています。イギリスの仕組みでは、孤独・孤立問題のある患者が、かかりつけ医から「リンクワーカー」に紹介され、さまざまな団体が紹介されるという仕組みがあります。世田谷区において、この「リンクワーカー」の役割を誰が担うかという問題はあるものの、地区医師会としては、患者の孤独・孤立含めた**健康の社会的決定要因：SDH**に関心を持ち、適切な社会資源につなぐ役割を積極的に果たしたいと考えています。玉川地域ではすでに「暮らしの保健室」活動が複数の医療機関が関わって展開されており、地域共生社会の文脈からは、各小学校区に、地元町会・商店街・PTAが関わるようなミニ相談支援センターが設置されることを提案します。

# 世田谷区民の健康寿命を延伸する 玉川医師会の取り組み

一般社団法人玉川医師会 在宅医療担当理事

医療法人社団創福会 ふくろうクリニック等々力・自由が丘

山口 潔



日本老年医学会 老年科専門医・指導医・代議員  
日本老年精神医学会 専門医・指導医 日本認知症学会 専門医・指導医  
日本内科学会 総合内科専門医 厚生労働省 臨床研修指導医  
日本プライマリ・ケア連合学会 認定医・指導医  
日本老年腫瘍学会 理事 日本緩和医療学会指導者講習会修了  
日本サイコオンコロジー学会 登録精神腫瘍医・評議員  
日本メンズヘルス医学会 テストステロン治療認定医  
日本医師会 認定健康スポーツ医  
東京大学医学部・杏林大学医学部・東京都立大学 非常勤講師  
東京医科歯科大学・日本赤十字看護大学 臨床教授 昭和大学 客員教授

# 3つの新しい区検診の提案

## 1. 認知症検診



**対象：70歳・75歳・80歳になった全区民**

**検査項目：HDSR = 長谷川式認知症スケール**

## 2. ロコモ検診

**対象：50歳・55歳・60歳・65歳になった全区民**

**検査項目：立ち上がりテスト、2ステップテスト、ロコモ25**

## 3. フレイル検診

**対象：75歳以上 長寿健診のオプション検査として**

**検査項目：下腿周囲長、握力、5回椅子立ち上がり時間**

# 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施（市町村における実施のイメージ図）

## 市町村が一体的に実施

④多様な課題を抱える高齢者や、閉じこもりがちで健康状態の不明な高齢者を把握し、アウトリーチ支援等を通じて、必要な医療サービスに接続。

国保中央会・国保連が、分析マニュアル作成・市町村職員への研修等を実施

医療・介護データ解析

- ②高齢者一人ひとりの医療・介護等の情報を一括把握
- ③地域の健康課題を整理・分析



①事業全体のコーディネートやデータ分析・通いの場への積極的関与等を行うため、市町村が、地域に保健師、管理栄養士、歯科衛生士等の医療専門職を配置

経費は広域連合が交付（保険料財源＋特別調整交付金）

高齢者

※フレイルのおそれのある高齢者全体を支援

疾病予防・重症化予防

⑤国民健康保険と後期高齢者医療制度の保健事業を接続

⑥社会参加を含むフレイル対策を視野に入れた取組へ

⑦医療専門職が、通いの場等にも積極的に関与

⑩市民自らが担い手となって、積極的に参画する機会の充実

介護予防の事業等

生活機能の改善

⑨民間機関の連携等、通いの場の大幅な拡充や、個人のインセンティブとなるポイント制度等を活用

かかりつけ医等

⑧通いの場への参加勧奨や、事業内容全体等への助言を実施

⑪通いの場に、保健医療の視点からの支援が積極的に加わることで、

- ・通いの場や住民主体の支援の場で、専門職による健康相談等を受けられる。
- ・ショッピングセンターなどの生活拠点等を含め、日常的に健康づくりを意識できる魅力的な取組に参加できる。
- ・フレイル状態にある者等を、適切に医療サービスに接続。

**医師会・医療機関の役割は大きいはず！**

# レカネマブ/ドナネマブの治療適応は、アルツハイマー病の 軽度認知障害～軽症認知症

認知症 = “生活に支障をきたしている” 状態ではないが、  
認知機能低下 = 記憶力の低下など がある状態が 軽度認知障害。





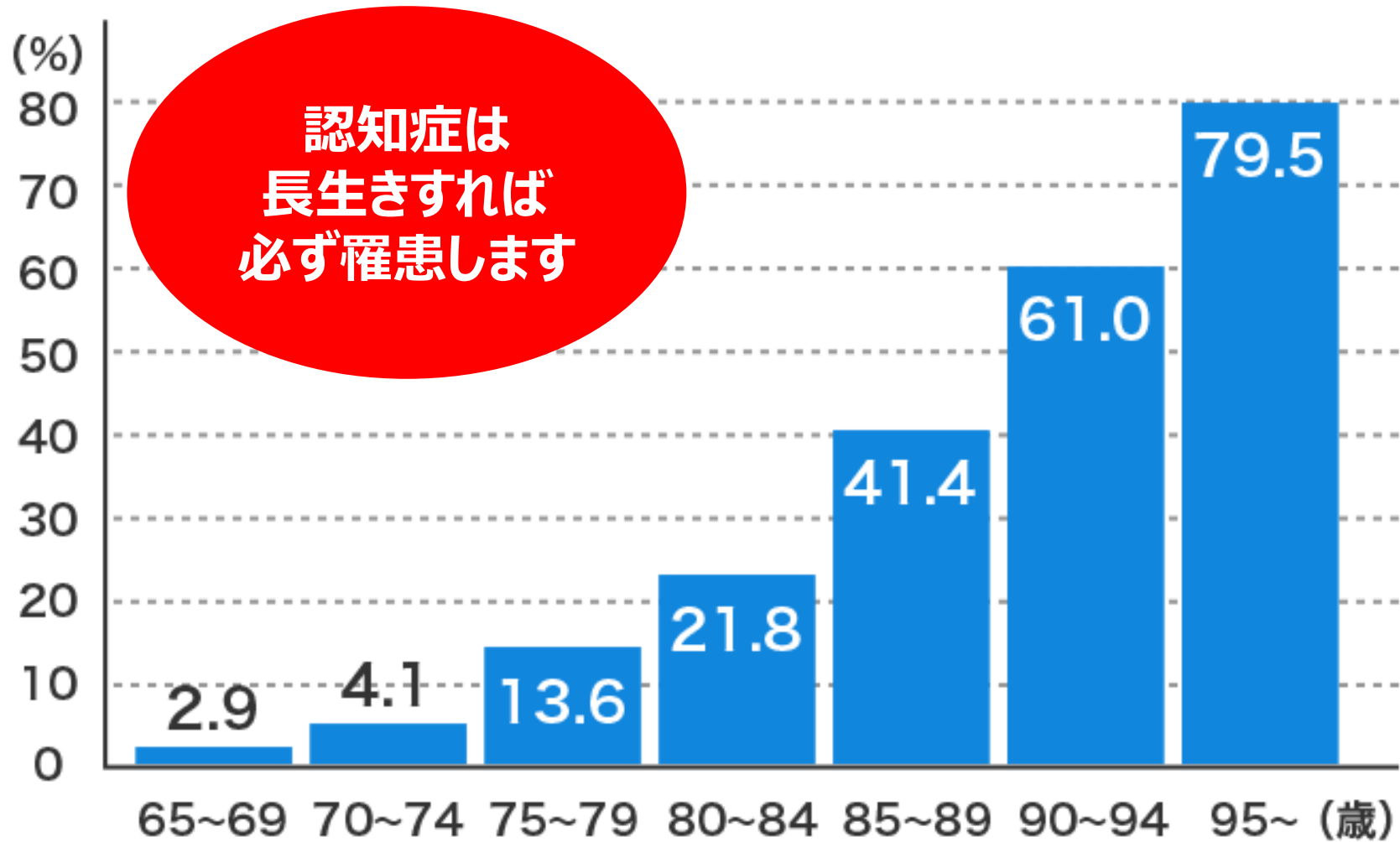
# SCDからの認知症予防

SCDはMCI/認知症の前段階である場合がある！

	<b>SCD</b> 自覚的 subjective 認知機能 cognitive 低下 decline	<b>MCI</b> 軽度 mild 認知機能 cognitive 障害 impairment	<b>認知症</b>  Dementia
客観的な認知機能	保たれる	低下	低下
生活機能	保たれる	保たれる	低下
ご本人の様子	違和感を覚えはじめ不安になる	認知機能障害の自覚が乏しくなり始める	認知機能障害の自覚が乏しくなる
ご家族の様子	ご本人の物忘れに気づきにくい	ご本人の物忘れが少し気になりだす	認知症かもしれないと不安になる

# 年齢別認知症罹患率

## 治療を考えると70歳～80歳が検診ターゲット



厚生労働省研究班推計(2013)





# 認知症の危険因子

Wasano K, et al. The Lancet Regional Health. 2026

※久山町研究では**低体重**も指摘されている

	危険因子	関与%
小児期	低教育歴	1.5
中年期	<b>聴力障害</b>	<b>6.7</b>
	<b>運動不足</b>	<b>6.0</b>
	<b>脂質異常症</b>	<b>4.5</b>
	<b>糖尿病</b>	<b>3.0</b>
	<b>高血圧</b>	<b>2.9</b>
	<b>うつ</b>	<b>2.6</b>
	<b>喫煙</b>	<b>2.2</b>

	危険因子	関与%
中年期	過剰飲酒	1.3
	頭部外傷	0.8
	肥満	0.7
高齢期	<b>社会的孤立</b>	<b>3.5</b>
	大気汚染	2.5
	視力障害	0.6
<b>認知症発症要因における潜在的に修正可能なものの割合</b>		<b>39%</b> <38>

# 危険因子の治療で認知症予防

## 1. 生活習慣病

高血圧・糖尿病・脂質異常症・肥満

過量飲酒・喫煙・大気汚染

## 2. フレイル

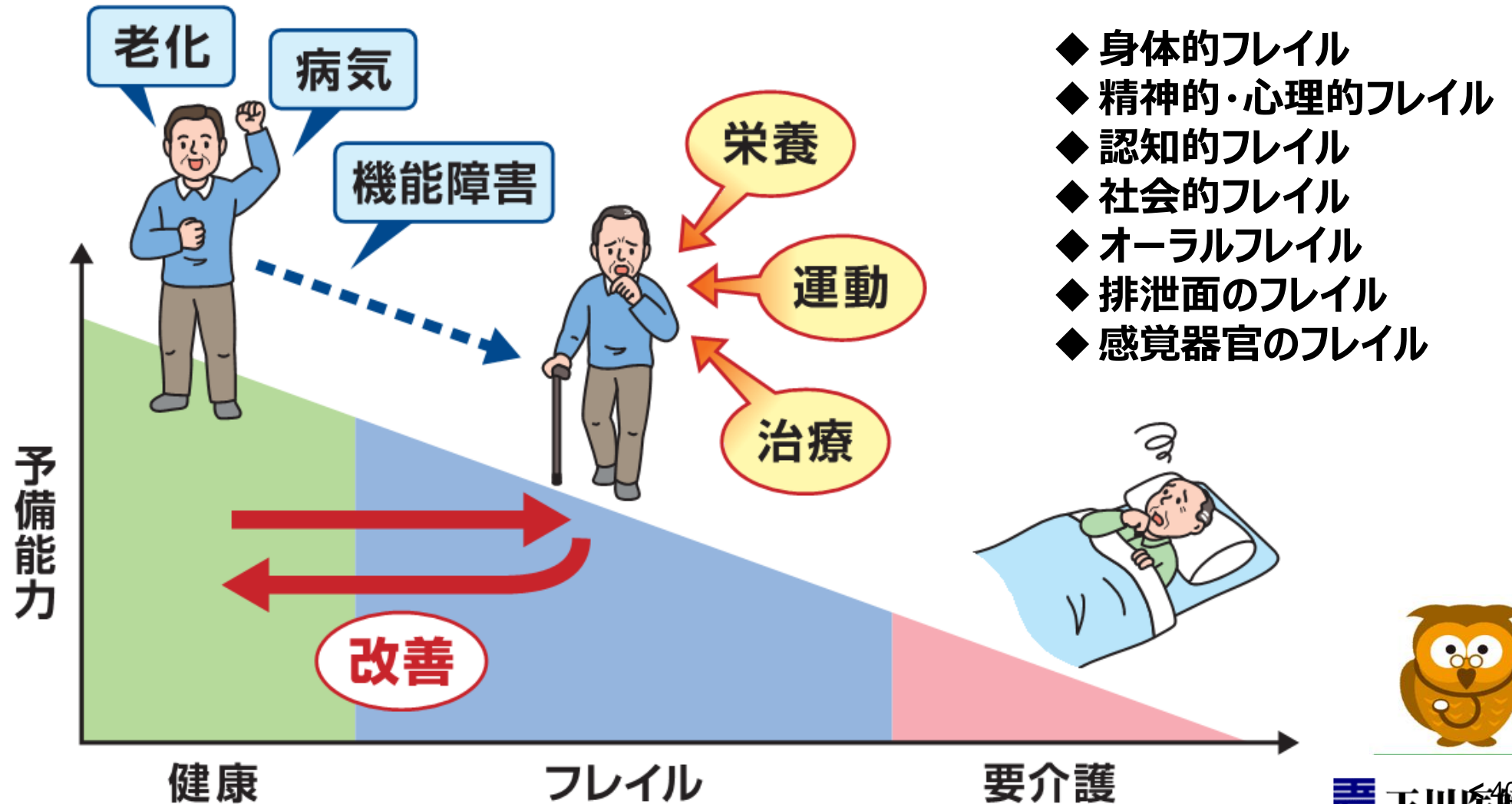
低教育歴・うつ病・頭部外傷・視力障害・聴力障害

低体重・身体不活発・社会的孤立



# フレイル = 要介護状態の前段階

2014年5月に日本老年医学会が提唱



# 改訂日本版フレイル基準：J-CHS基準

Satake S and Arai H. Geriatr Gerontol Int. 2020; 20(10): 992-993

項目	評価基準
<b>体重減少</b>	6カ月で、2kg以上の（意図しない）体重減少
筋力低下	握力：男性 < 28kg、女性 < 18kg
疲労感	（ここ2週間）わけもなく疲れたような感じがする
<b>歩行速度低下</b>	通常歩行速度 < 1.0m/秒
身体活動量低下	①軽い運動・体操をしていますか？ ②定期的な運動・スポーツをしていますか？ 上記の2つのいずれにも「週に1回もしていない」と回答

3項目以上に該当：フレイル      1-2項目に該当：プレフレイル  
該当しない：ロバスト（健常）

# 長寿健診を受けよう！

2020年4月開始の後期高齢者（75歳以上）の健診（フレイル健診）の質問票

類型名	No	質問文	回答
健康状態	1	あなたの現在の健康状態はいかがですか	①よい ②まあよい ③ふつう ④あまりよくない ⑤よくない
心の健康状態	2	毎日の生活に満足していますか	①満足 ②やや満足 ③やや不満 ④不満
食習慣	3	1日3食きちんと食べていますか	①はい ②いいえ
口腔機能	4	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか ※さきいか、たくあんなど	①はい ②いいえ
	5	お茶や汁物等でむせることがありますか	①はい ②いいえ
体重変化	6	6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	①はい ②いいえ
運動・転倒	7	以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	①はい ②いいえ
	8	この1年間に転んだことがありますか	①はい ②いいえ
	9	ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか	①はい ②いいえ
認知機能	10	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると 言われていますか	①はい ②いいえ
	11	今日が何月何日かわからない時がありますか	①はい ②いいえ
喫煙	12	あなたはたばこを吸いますか	①吸っている ②吸っていない ③やめた
社会参加	13	週に1回以上は外出していますか	①はい ②いいえ
	14	ふだんから家族や友人と付き合いがありますか	①はい ②いいえ
ソーシャルサポート	15	体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか	①はい ②いいえ

ロコモ・フレイル

MCI・SCI

質問票もしっかり  
書き込み、  
かかりつけ医と、  
ロコモ・フレイル・  
認知症予防に  
ついて、  
話し合おう！

# フレイル対策の4本柱

東京都健康長寿医療センター  
フレイル予防センター

東京都医師会：フレイルサポート医

東京都介護予防・フレイル  
予防推進支援センター

自治体

後期高齢者の健診の活用

多職種団体

栄養

運動

社会参加

疾患の治療

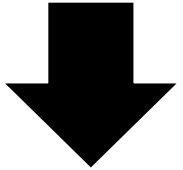
地域における  
フレイル・介護予防対策

フレイル評価に基づいた医療  
と老年症候群のケア

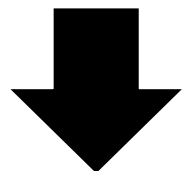
フレイルは予防のための栄養、運動、社会参加だけでなく、フレイルになりやすい疾患の治療と老年症候群（症状）のケアを行い、その悪化を防ぐことが重要です。

# 長寿健診事後対応世田谷方式

健診



精査



治療

連携

- ◆健診対応医療機関で長寿健診を行う。
- ◆結果説明時に、問診票の回答を確認。
- ◆ロコモ・フレイル・物忘れが確認されたら、その**原因を精査**。
- ◆必要に応じて、①精査対応医療機関、②歯科医療機関、③あんしんすこやかセンターに紹介。
- ◆**原因に応じた治療**を行い、ロコモ・フレイル・認知症の進行を抑制。
- ◆あんしんすこやかセンターと連携し、低栄養、身体不活発、社会的孤立に関する介入を行う。

# 世田谷区ロコモ・フレイルネットワーク構想

玉川医師会・世田谷区医師会合同でロコモ・フレイル対策協議会を立ち上げ  
世田谷区保健福祉政策部・高齢福祉部と連携して計画調整を始めよう！

◆ **第1回ロコモ・フレイル対策協議会 2024年9月6日**

◆ **ロコモ・フレイル・物忘れ対応可能な医療機関リストの作成**

医師会会員医療機関にアンケート調査

・・・長寿健診の質問票の項目ごとに、精査対応が可能か質問

◆ **事後対応に関する研修会を開催 ・・・これから**

区健診事業・あんしんすこやかセンターと連携 **世田谷区へ要望**

2022年4月1日



# フレイル・ロコモ克服 のための医学会宣言

日本医学会連合

日本医学会連合加盟学会 (57学会、加盟学会番号順)

日本生理学会、日本癌学会、日本衛生学会、日本栄養・食糧学会、日本温泉気候物理医学会、日本内分泌学会、日本内科学会、日本精神神経学会、日本外科学会、日本整形外科学会、日本産科婦人科学会、日本眼科学会、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会、日本泌尿器科学会、日本公衆衛生学会、日本体力医学会、日本麻酔科学会、日本胸部外科学会、日本農村医学会、日本糖尿病学会、日本神経学会、日本老年医学会、日本リハビリテーション医学会、日本呼吸器学会、日本腎臓学会、日本リウマチ学会、日本生体医工学会、日本肝臓学会、日本形成外科学会、日本小児外科学会、日本消化器外科学会、日本臨床検査医学会、日本医療・病院管理学会、日本治療学会、日本職業・災害医学会、日本大腸肛門病学会、日本動脈硬化学会、日本疫学会、日本集中治療医学会、日本平滑筋学会、日本脳卒中学会、日本高血圧学会、日本透析医学会、日本肥満学会、日本血栓止血学会、日本臨床腫瘍学会、日本プライマリ・ケア連合学会、日本脊椎脊髄病学会、日本緩和医療学会、日本臨床スポーツ医学会、日本病態栄養学会、日本老年精神医学会、日本臨床栄養代謝学会、日本再生医療学会、日本脳神経血管内治療学会、日本骨粗鬆症学会、日本女性医学学会

日本医学会連合非加盟団体 (23団体、50音順)

日本運動疫学会、日本運動器科学会、日本栄養改善学会、日本看護協会、日本基礎老化学会、日本防学会、日本言語聴覚士協会、日本在宅医療連合学会、日本作業療法士協会、日本サルコペニア・フレイル学会、日本歯科医学会、日本摂食嚥下リハビリテーション学会、日本総合健診医学会、日本創傷学会、日本人間ドック学会、日本薬剤師会、日本腰痛学会、日本理学療法士協会、日本リハビリテーション栄養学会、日本臨床整形外科学会、日本老年看護学会、日本老年歯科医学会、日本老年社会科学会

- 1 フレイル・ロコモは、生活機能が低下し、**健康寿命を損ねたり、介護が必要になる危険が高まる状態です。**
- 2 フレイル・ロコモは、適切な対策により**予防・改善**が期待できます。
- 3 私たちは、フレイル・ロコモ克服の活動の中核となり、一丸となって**国民の健康長寿の達成に貢献**します。
- 4 私たちは、フレイル・ロコモ克服のために、国民が自らの目標として実感でき実践できる活動目標として**80歳での活動性の維持を目指す「80GO (ハチマルゴー)」運動を展開**します。



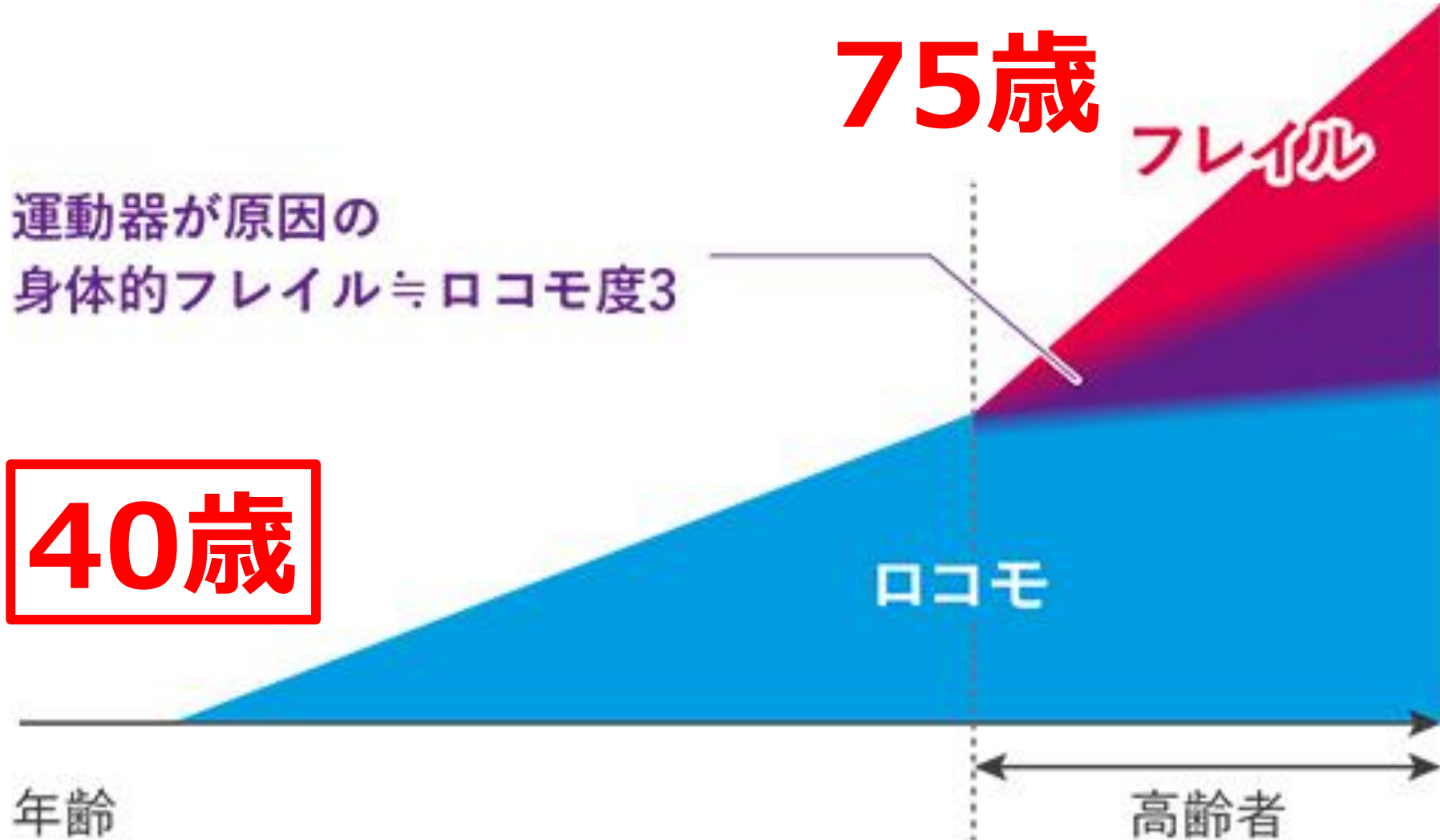
# ロコモティブシンドローム

- ◆ 2007年に日本整形外科学会が提唱。
- ◆ 運動器とは**骨・関節・筋肉・神経**などで成り立っています。
- ◆ **運動器の障害**のために立ったり歩いたりするための**身体能力**（移動機能）が低下した状態を「ロコモティブシンドローム＝**ロコモ**、または**運動器症候群**」といいます。
- ◆ ロコモが進行すると、**将来介護が必要**になるリスクが高まります。



# ロコモ＝フレイルの前段階

ロコモONLINE | 日本整形外科学会公式 ロコモティブシンドローム予防啓発公式サイト <https://locomo-joa.jp/>





# ロコモ度テスト

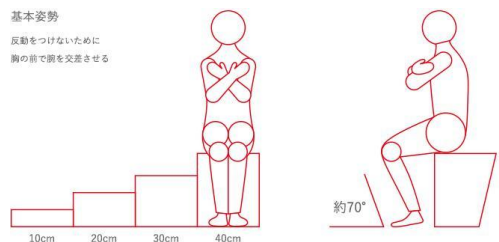
ロコモONLINE | 日本整形外科学会公式 ロコモティブシンドローム予防啓発公式サイト <https://locomo-joa.jp/>

## ロコモ1

## ロコモ2

## ロコモ3

### 立ち上がりテスト

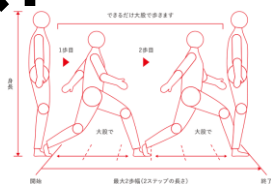


どちらか一方の脚で  
40cmの台から立ち上が  
れないが、両脚で20cm  
の台から立ち上がる

両脚で20cmの台から  
立ち上がれないが、  
30cmの台から立ち  
上がる

両脚で30cmの  
台から立ち上がれ  
ない

### 2ステップテスト



2ステップ値が  
1.1以上1.3未満

2ステップ値が  
0.9以上1.1未満

2ステップ値が  
0.9未満

### ロコモ25



7点以上16点未満

16点以上24点未満

24点以上



# ロコモ1～の年齢別頻度

ロコモONLINE | 日本整形外科学会公式 ロコモティブシンドローム予防啓発公式サイト <https://locomo-joa.jp/>

立ち上がりテスト

ロコモ1

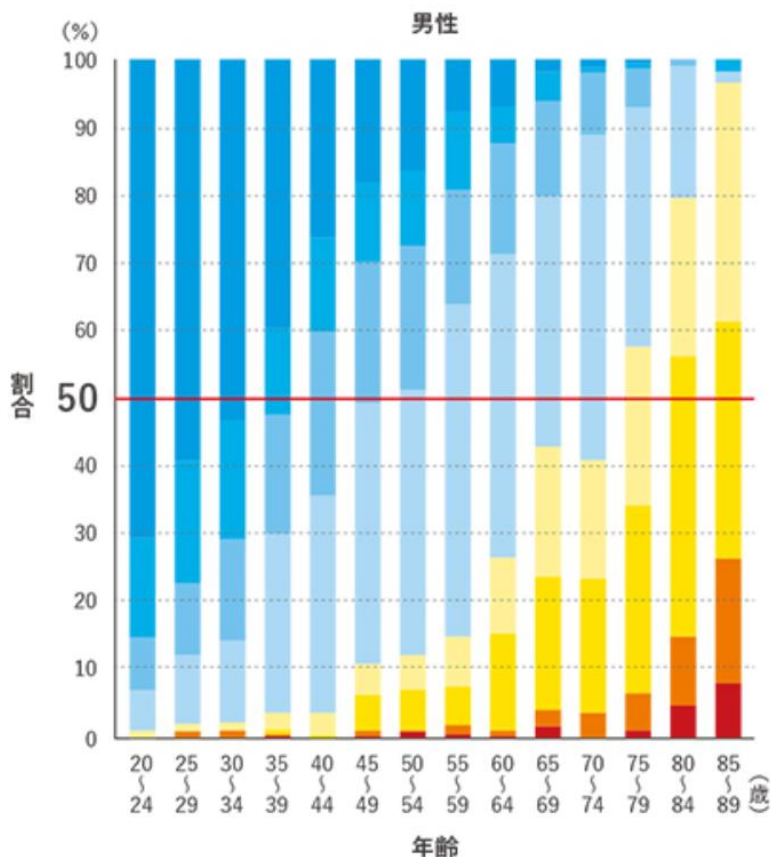
【男性】

50歳 12%

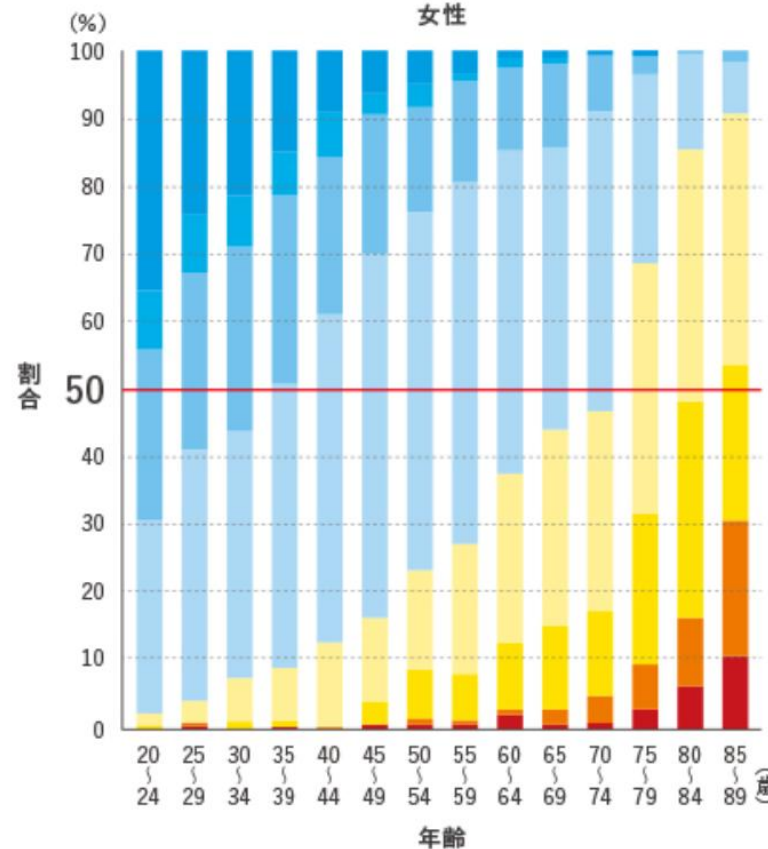
55歳 15%

60歳 27%

65歳 43%



女性



立ち上がりテスト

ロコモ1

【女性】

50歳 23%

55歳 27%

60歳 38%

65歳 44%

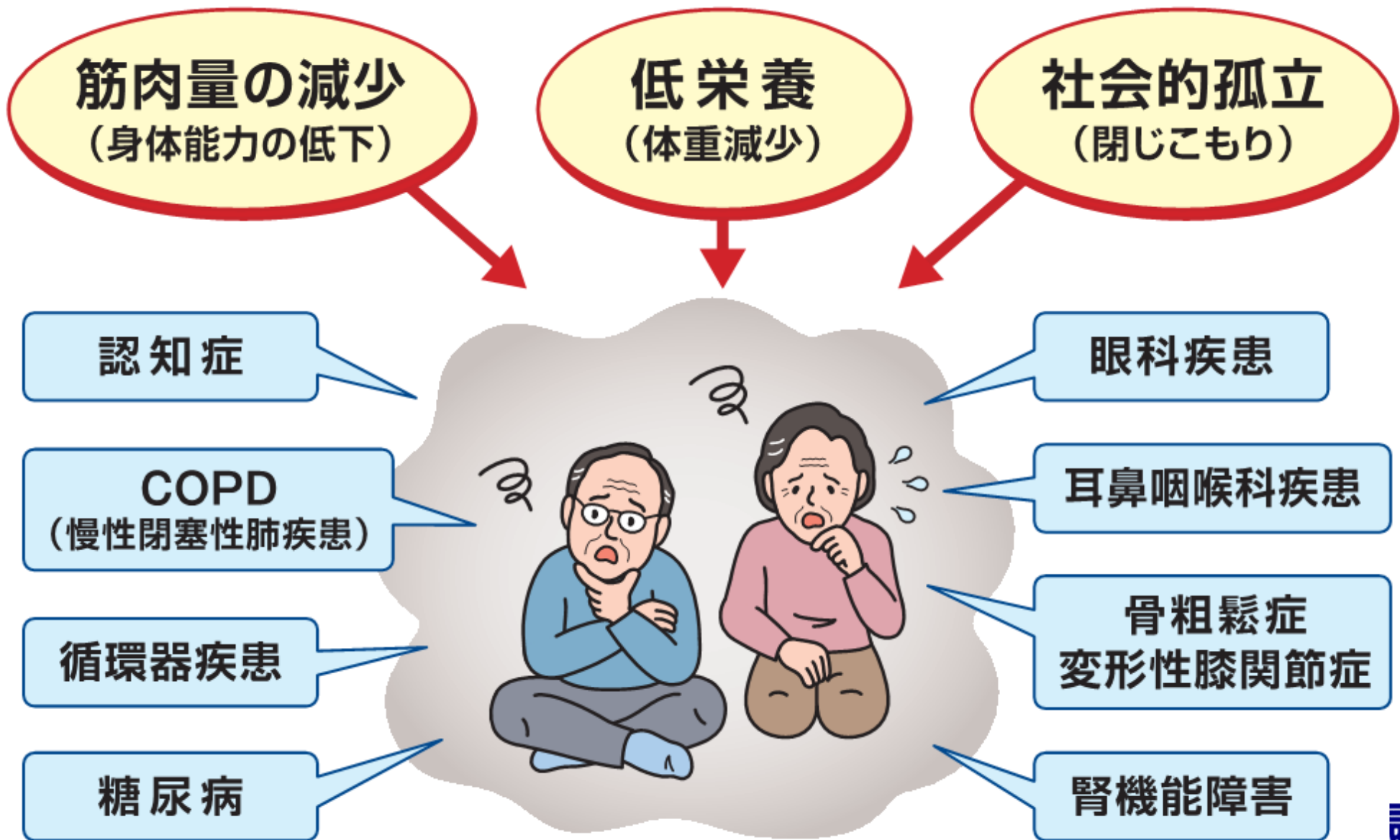


※「歩行に他者の介助を必要とせず、運動器疾患の治療中でない地域在住者8681人」を対象とした調査結果より作成、参考:Yamada, K et al.]

Orthop Sci 2020



# フレイルの原因





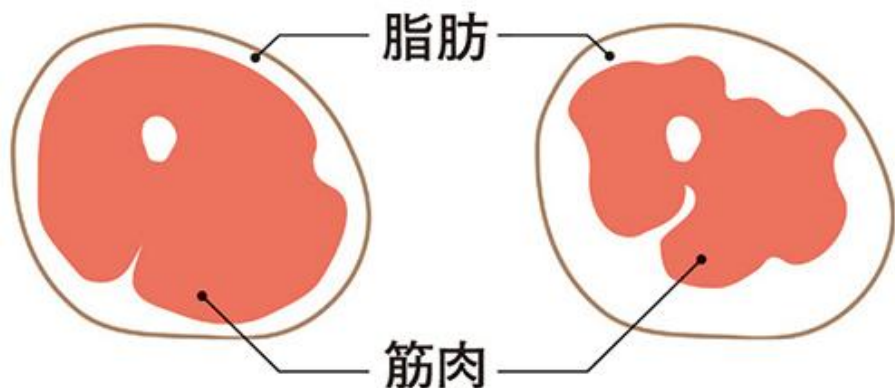
# サルコペニアを予防しよう！

Sarco=筋肉 penia=減少 (ギリシャ語)

→「筋肉減弱症」

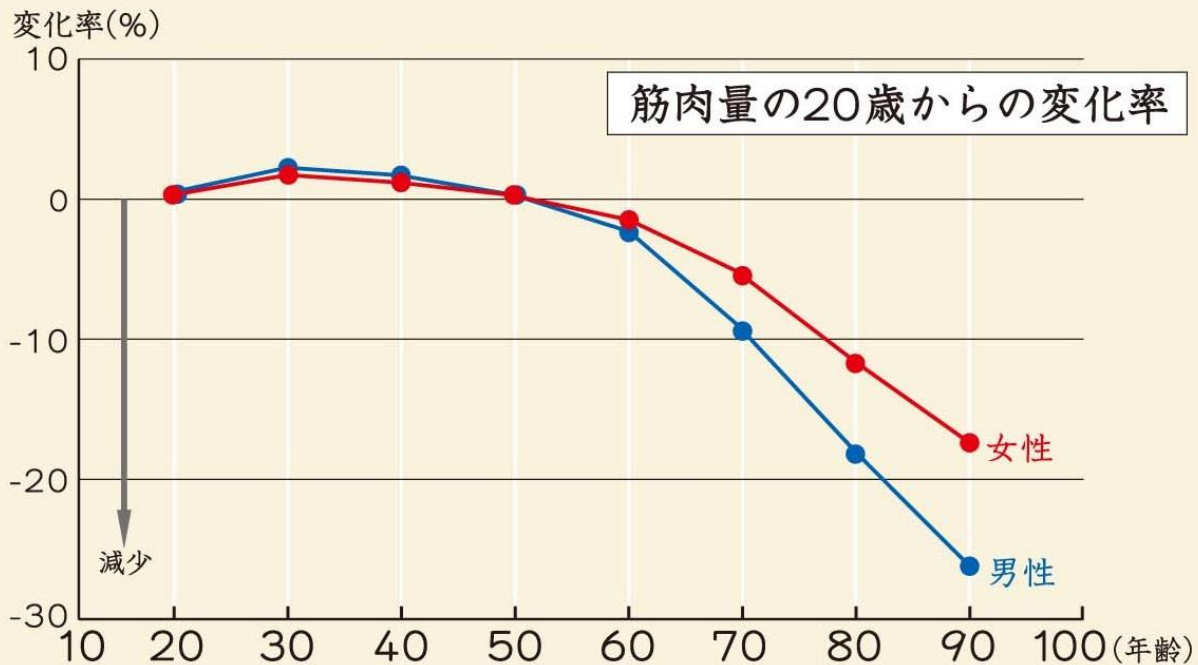
筋肉量 = 60歳をすぎた頃より急速に減少

太ももの断面図 (イメージ)



健康な人の太もも

サルコペニアの人の太もも



出典：谷本芳美, 渡辺美鈴, 河野令, 広田千賀, 高崎恭輔, 河野公一. 日本人筋肉量の加齢による特徴 日本老年医学 2010: (47) 52-57. (出典を参考にしてわかりやすくしています)



# サルコペニアの診断基準

## まずは筋力低下をチェック→筋肉量を測定

下腿周囲長 男性 <34cm 女性 <33cm

SARC-F : 問診票

握力  
男性 28kg未満  
女性 18kg未満

5回椅子立ち上がりテスト  
12秒以上

専門医療機関で精査



身体機能低下または制限、意図しない体重減少

抑うつ気分、認知機能障害

繰り返す転倒、栄養障害

慢性疾患（例：心不全、慢性閉塞性肺疾患、糖尿病、慢性腎臓病、等）

### 筋肉量測定

骨格筋指数SMI =

$$\text{四肢骨格筋量} / (\text{身長})^2$$

男性 7.0 kg/m<sup>2</sup>未満

女性 5.7 kg/m<sup>2</sup>未満 (BIA)

5.4 kg/m<sup>2</sup>未満 (DXA)

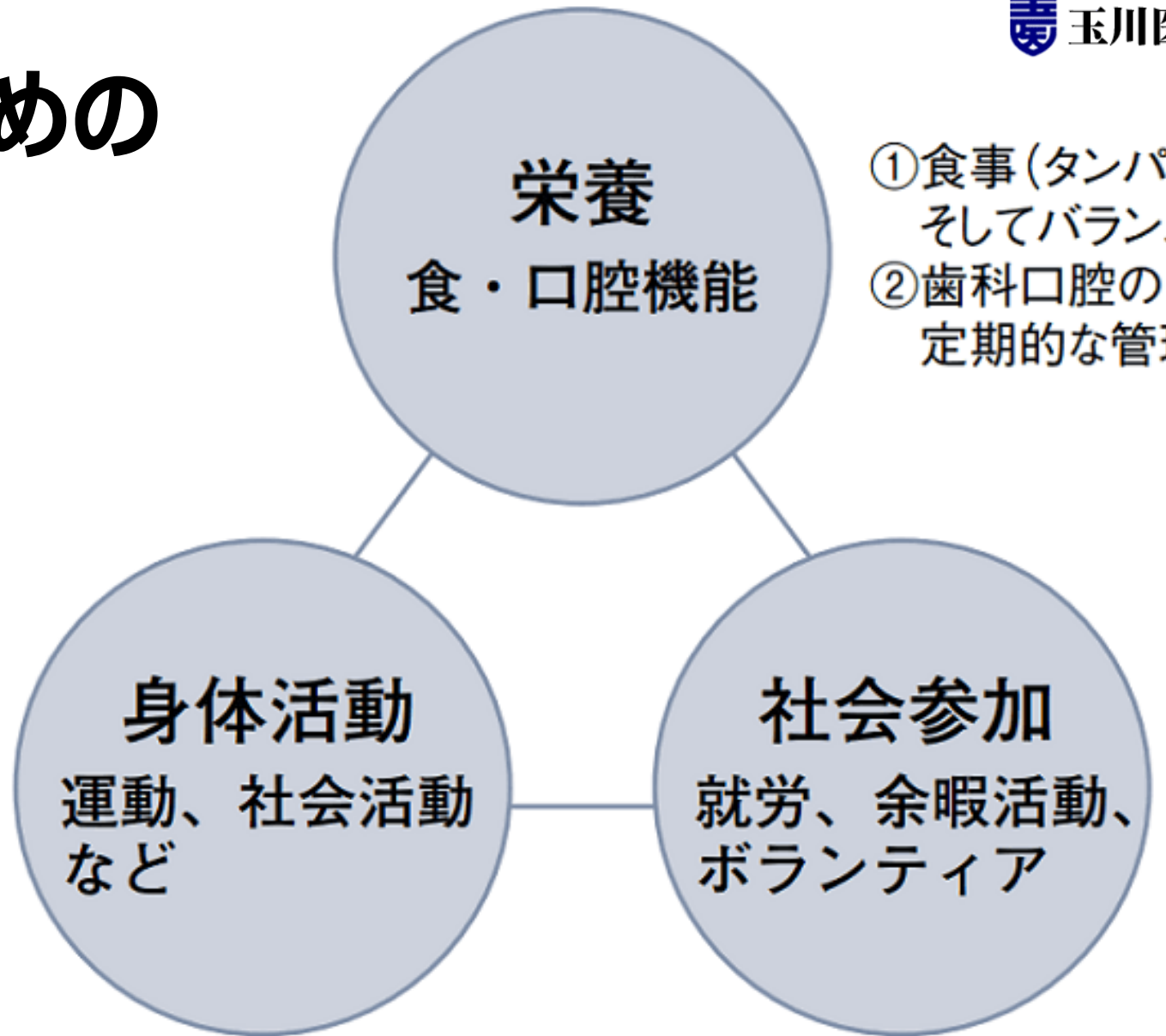




# 健康長寿のための 3つの柱

## 【保健医療福祉の多職種連携】

- 医師・歯科医師
- 薬剤師
- 看護師・保健師・助産師
- 公認心理師
- 管理栄養士
- 健康運動指導士
- 理学療法士・作業療法士
- 言語聴覚士・歯科衛生士
- 精神保健福祉士
- 社会福祉士・介護福祉士
- 介護支援専門員



- ① 食事(タンパク質、そしてバランス)
- ② 歯科口腔の定期的な管理

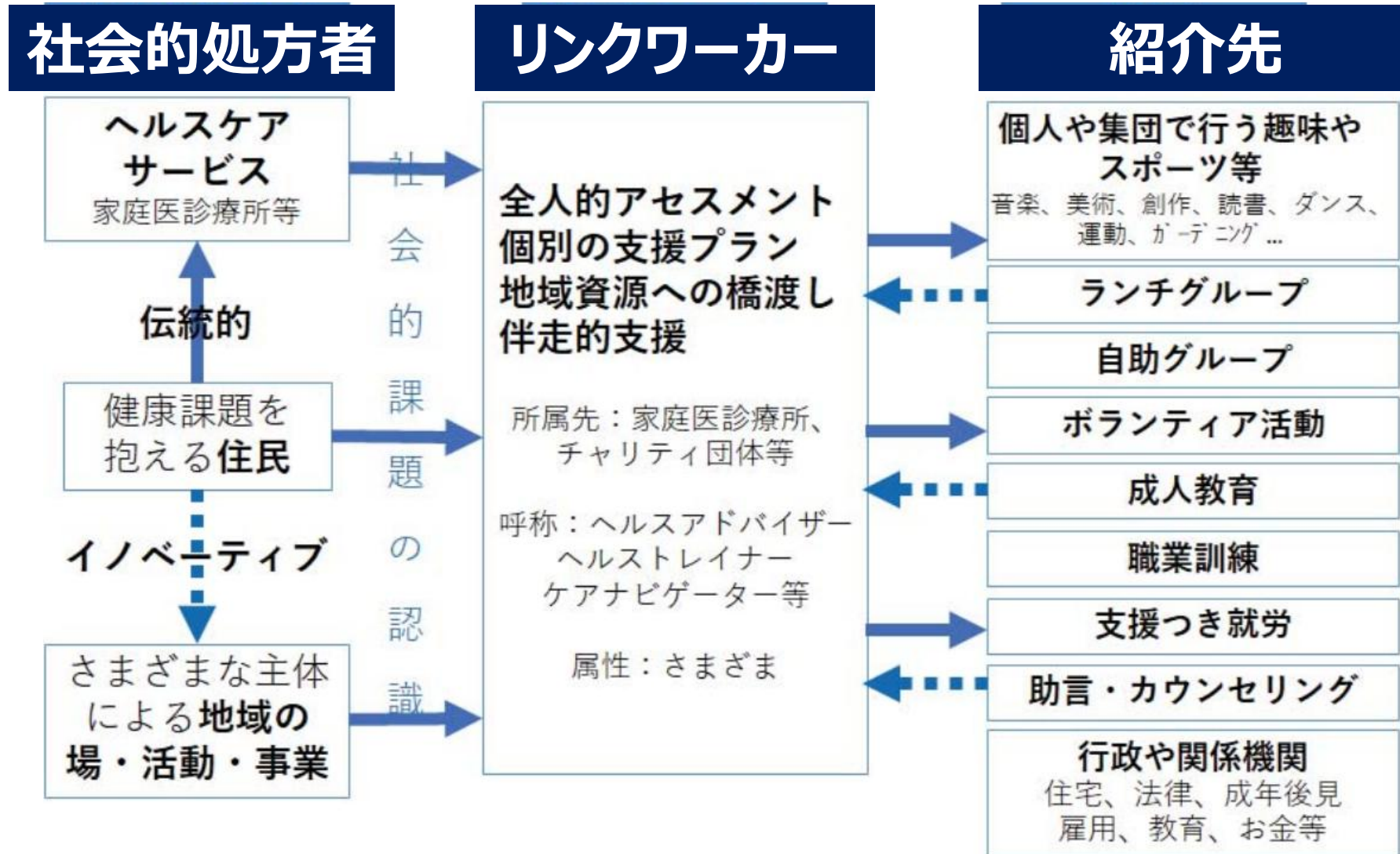
- ① たっぷり歩こう
- ② ちょっと頑張って筋トレ

- ① お友達と一緒にご飯を
- ② 前向きに社会参加を

# かかりつけ医による「社会的処方」

- ◆ **社会的処方（Social prescribing）**とは、**医師が高齢者と地域とのつながりをサポート**することで、病気の長期化を防ぎ、心身の健康の維持・向上を図るための取り組みのこと。イギリスで確立。
- ◆ 本邦でも2020年に厚生労働省が取り組みの推進に着手している。
- ◆ 介護保険サービスだけでなく、社会福祉協議会、ボランティア協会、シルバー人材センター、高齢者クラブ、生涯大学など、さまざまな社会参加資源との連携。

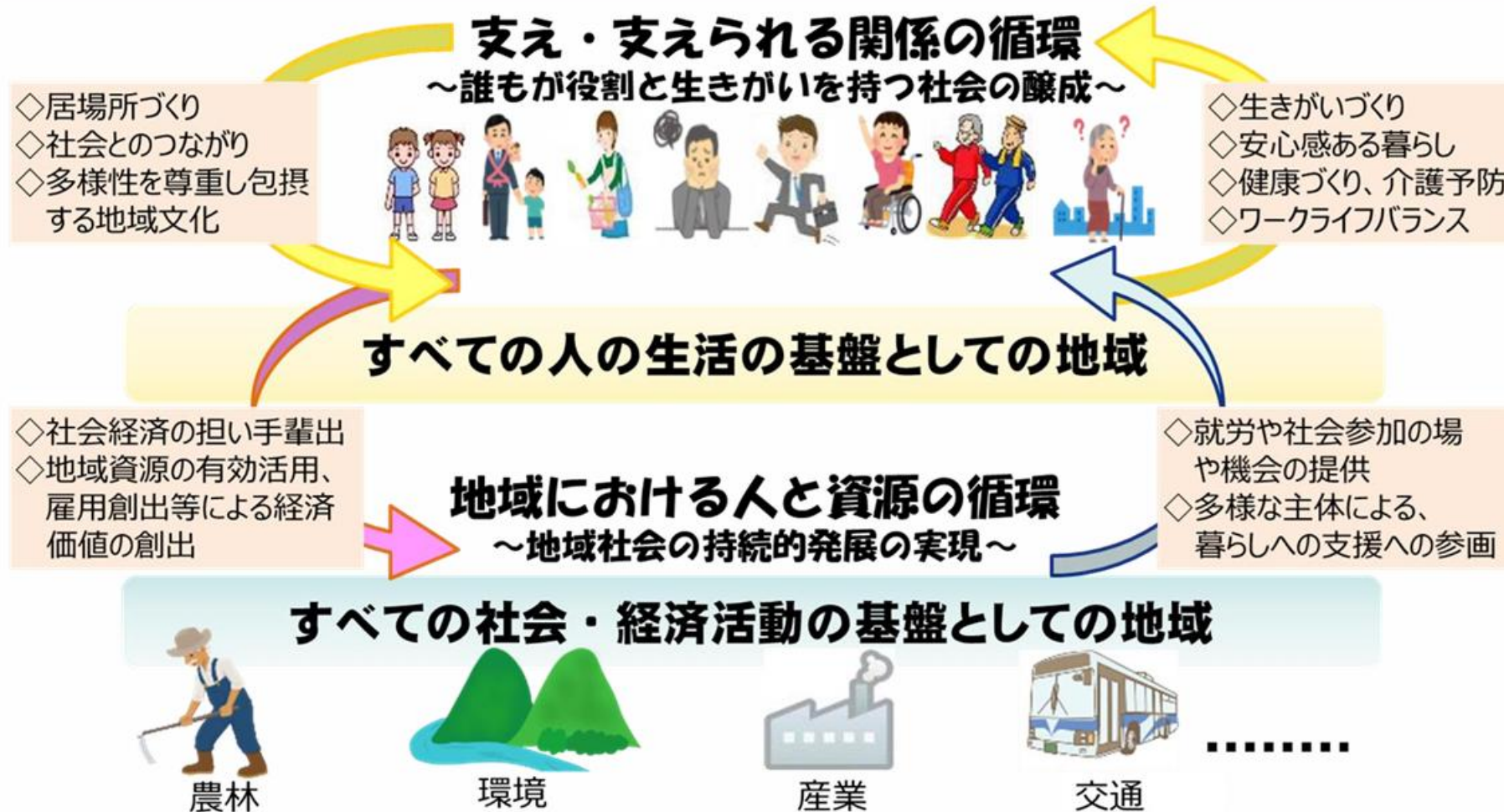
# イギリスの社会的処方者の仕組み





# 地域共生社会～2040年

◆制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、**住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会**



# おやまち暮らしの保健室での学び

- ① 対象を高齢者に限らない：4者連携を活用
- ② 拠点は小学校区に1か所：各小学校と連携



東急大井町線尾山台駅「ハッピーロード」  
タタタハウス・タカノ洋品店

(一社) おやまちプロジェクト

東京都市大学都市生活学部坂倉研究室

尾山台商栄会商店街振興組合

尾山台小学校・中学校PTA

ふくろうクリニック等々力

等々力あんしんすこやかセンター



おやまち  
プロジェクト

東京都市大学  
TOKYO CITY UNIVERSITY



医療法人社団 創福会  
ふくろうクリニック等々力  
Fukuro Clinic TODOROKI

医療法人社団 創福会  
ふくろうクリニック58が  
Fukuro Clinic JIYUGAOKA

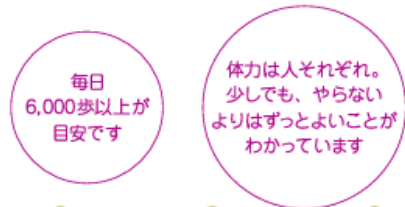
# 介護予防ではなく「健康スポーツ」で

- ① 区庁内連携：文化・芸術・スポーツ・生涯学習の各部門と連携
- ② 私立学校・区内の産業・商店街・医療介護福祉事業者と連携

## 厚生労働省が定める「アクティブガイド2023」（高齢者版）

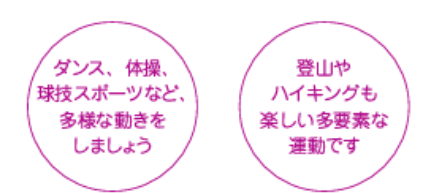
### ① 歩こう！ 動こう！

毎日40分以上の身体活動



### ② いろいろな運動を楽しもう！

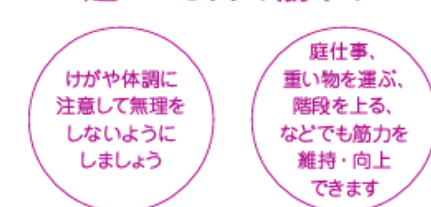
週3日以上の多要素な運動



バランス、柔軟性、筋力などの複数の体力要素を高めることができる運動が多要素な運動です。

### ③ 筋力を高めよう！

週2～3日の筋トレ



高齢者にとって筋トレは重要です。運動施設での筋トレや自宅で器具を使わずに行う自重トレーニング（例：スクワット）はいかがですか。

### ④ 座りっぱなしを避けよう！

座位行動を減らす



テレビなどの前に長時間座りっぱなしにならないように、30分に1回は立ち上がり、からだを動かしましょう。

筋トレをして、円背・脊椎変形、O脚・X脚、外反母趾を予防しよう！<sup>59</sup>

## 第2回高齢者福祉・介護保険部会での意見発表（玉川砧薬剤師会）

### 1 所属団体のご紹介（目的や活動内容等）

玉川砧薬剤師会の長富と申します。私の所属する玉川砧薬剤師会の詳細については、机上の「玉川砧薬剤師会の概要」を後ほどご覧ください。

### 2 実践活動から感じる課題

#### 1) 認知症の早期発見・初期対応の遅れ

薬局では日常的な服薬指導の際に高齢者の変化に気づく機会が多いものの、あんしんすこやかセンター等との連携が十分に機能していないと感じている。

#### 2) 介護予防・重度化防止の取組みの不足

薬局ではフレイル兆候や低栄養、服薬状況の変化を把握できますが、それを地域の介護予防施策につなげる仕組みが弱いと感じている。

#### 3) 相談件数の増加と課題の複雑化

薬局にも独居高齢者の不安や服薬管理困難などの相談が寄せられますが、薬局単独では対応が難しいケースが増えている。

#### 4) 在宅医療・介護連携の重要性の高まり

施策体系の中で「在宅医療・介護連携の推進」が位置づけられている。

薬局は在宅療養者の服薬管理の入口となることが多いものの、地区の連携体制の中で役割が十分に明確化されていないと感じている。

### 3 課題解決に向け、計画に盛り込むべきと考える意見

#### 1) 認知症施策の強化に初期集中支援を明記

■該当箇所：Ⅱ 高齢者の活動と参加を促進する【施策】5 認知症施策の総合的推進

■追記を検討いただきたい内容： 在宅医療へ移行する前段階の支援を明確化

在宅医療に移行する前の段階として、初期の認知症や生活機能低下が疑われる高齢者に対し、初期集中支援の強化を明記する必要があるのではないかと。

その際、地域で日常的に高齢者と接している薬局を、この初期集中支援の流れの中に位置づけていただくことを提案。

#### 2) 既に関係性の構築ができている機関や団体に薬局を明記

■該当箇所：区の重層的支援体制整備事業

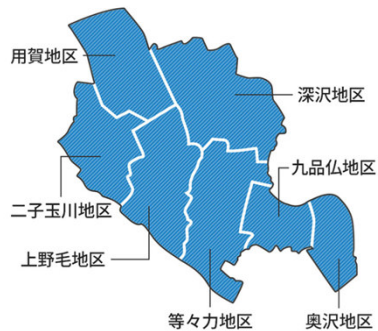
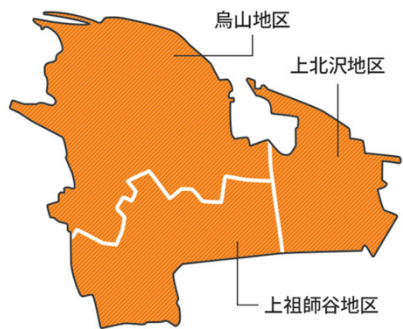
■追記してほしい内容： 医療の枠の中の「医療機関」の横に「薬局」を追記。

第2回世田谷区高齢者福祉・介護保険部会（2026年3月19日）

# 玉川砧薬剤師会の概要

一般社団法人玉川砧薬剤師会

副会長 長富範子



世田谷区HPより



# 玉川砧薬剤師会

世田谷区西側3地域(玉川、砧、烏山)で構成

会員数：172人（121薬局）（令和8年年3月1日現在）

※会員薬局をあんしんすこやかセンターの区割りに従って、班分けを行ってます。

地区連携医の制度に倣って地区ごとに担当薬剤師を配置しています。

役員：会長1名、副会長3名、理事6名、幹事2名

（令和7年度）



# 玉川砧薬剤師会

基本理念：薬剤師としての倫理、知識の向上を図るとともに地域社会の薬事、公衆衛生に貢献する事により社会の福祉の増進を図る事および会員相互の親睦を図ることを目的としています。

- 主な活動：
- ・世田谷区民の健康保持・増進と公衆衛生や保健福祉の向上を目指し、行政、医療、介護、福祉等の方々と連携しながら様々な活動を行っています。
  - ・地域の皆様の「かかりつけ薬剤師」「かかりつけ薬局」として、薬のことはもちろん健康や介護・福祉など気軽に相談でき、正しい情報を発信できる薬剤師・薬局となるべく日々の研鑽を積んでいます。
  - ・医師会休日急患診療所に対応した玉川会営薬局の運営、近隣の学校において薬物乱用、防止教育の実施、また定期的に会員薬剤師が区民の皆様や介護関係者の方に講演や薬の相談等を実施しております。
  - ・地域の医薬品提供体制強化のための体制構築を進めています。

# かかりつけ薬剤師、健康サポート薬局、地域連携薬局の推進

東京都都民向け普及啓発資材（東京都保健医療局）

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/hokeniryo/reiwa5>

## もうお持ちですか？

# 「かかりつけ薬剤師・薬局」

普段から利用する薬局を一つに決めておきましょう。かかりつけ薬剤師がかかりつけ薬局で、複数の医療機関から処方されたお薬でもまとめて管理し、お薬の重複や飲み合わせを確認します。また、患者情報を個々に記録し、服用している市販薬や健康食品などを考慮して調剤・服薬指導をします。

**かかりつけ薬剤師・薬局の機能**

- お薬の情報をまとめて管理
- 24時間対応・在宅訪問対応
- 医療機関などの連携

## 利用していますか？

# 「健康サポート薬局」

かかりつけ薬剤師・薬局の機能に加え、地域の皆様の健康保持・増進を積極的に支援する機能（健康サポート機能）を持った上で、保健所に届出を行った薬局が「健康サポート薬局」です。

**健康サポート機能**

- 健康相談（食事・運動・睡眠など）
- 専門研修を修了した薬剤師が常駐
- 地域での連携体制
- プライバシーに配慮した相談窓口
- 土日も一定時間開局
- 市販薬・介護用品の取扱い

## ご存知ですか？

# 「地域連携薬局」

入院時の医療機関等との情報連携や、地域の医療関係者と連携し在宅療養に取組むなど、患者さんの治療に一元的・継続的に対応できることを都道府県が認定した薬局です。

**在宅療養** ↔ **入院治療**

**薬+局**

- 在宅訪問の実践あり
- 専門研修の修了薬剤師が常勤
- 無菌製剤（輸液など）も調剤可能

## 「がん専門医療機関連携薬局」

専門医療機関連携薬局は、がんの専門的な薬学管理に関係機関と連携して対応できることを都道府県が認定した薬局です。

～地域連携薬局等・健康サポート薬局の探し方～

東京都薬局機能情報提供システム「e-薬局いんふお」では、薬局の所在地、健康サポート薬局などの条件を指定して都内の薬局を検索できます。

<http://www.himawari.metro.tokyo.jp/>

かかりつけの薬局は

2024年4月からは全国統一システム「医療情報ネット」に移行します。

令和5年発行 登録番号 05130

公益社団法人 東京都薬剤師会  
 発行 東京都保健医療局安全部薬務課  
 電話番号 03-5320-4511（ダイヤルイン）  
 印刷 大東印刷工業株式会社

## 世田谷区内の薬局機能情報 (夜間・休日・在宅対応)

- 地域の医薬品提供体制強化のアクションとして、世田谷薬剤師会・玉川砧薬剤師会合同で世田谷区内の薬局機能情報リストを作成し、両薬剤師会HPで掲載しています。

(毎月更新)

玉川砧薬剤師会 | 玉川砧薬剤師会とは | 会長メッセージ | 薬局検索 | 求人情報 | お問い合わせ | 会員専用ページ

詳細を見る

- 夜間・休日の医薬品提供体制リスト (お知らせ)
  - 下記よりダウンロードできます
  - ▶外来対応に係る体制
  - ▶在宅対応に係る体制
  - ▶その他の薬局機能
- 休日当番薬局：夜間・休日の急病の時は | 世田谷区ホームページ (当番薬局検索)
- 電子処方せん対応薬局：電子処方せん対応医療機関・薬局のマップ (東京 23 区) | 厚生労働省

<https://www.tamayaku.com/>

公益社団法人  
東京都薬剤師会  
TOKYO PHARMACEUTICAL ASSOCIATION

# わたしのまちの 薬局ガイド

東京都 世田谷区版

薬局にまつわるこんなギモン、ここでスッキリ!

- 「今の時間やっている薬局はどこだろう?」
- 「在宅医療に対応してくれる薬局はどこ?」
- 「オンライン服薬指導はこの薬局ができるの?」
- 「市販薬はこの薬局が取り扱ってるの?」

薬局リストはコチラ

あなたの街の薬局に関することが詳しく載っています。

薬局を活用して、あなたやご家族の「安心できる暮らし」をもっと身近に。

TRA 2024

あんすこ管理者さんからの提案により作成にいたった

## お薬手帳用連絡カードの作成

お薬手帳を作成した患者さんに手帳カバーと連絡カードの3点セットで渡します。

- ・在宅訪問薬剤管理指導を受けている方
- ・在宅訪問薬剤管理指導は受けていないが、服薬管理が必要と思われる方
- ・複数の医療機関にかかっていたり、各種介護サービスを利用されている方
- ・医療や介護を受けていて地域の見守りが必要と思われる方

### あなたを支える 医療・介護のケアチーム

かかっている医療機関や利用している介護サービス等の情報をまとめておくことで、あなたに必要なケアをどこが提供しているかすぐに分かり、適切な医療や介護につながりやすくなります。日ごろ利用している医療・介護の情報や、あなたが信頼している方の連絡先を記入しておくとう便利です。

ご本人同意欄(□にチェック☑を入れてください。)

このカードの利用方法について説明を受けました。必要な場合は、ここに記載されている情報を、医療・介護等関係者間で共有することに同意します。

#### ■薬局

名称	
電話番号	担当者名
備考	

#### ■あんしんすこやかセンター(地域包括支援センター)

名称	あんしんすこやかセン
電話番号	担当者名
備考	

#### ■ケアマネジャー

名称	
電話番号	担当者名
備考	

※手帳を見てその患者さんの担当者が分かればお互いに連携につながる

※ご本人欄は未記入でもかまいません。

ふりがな	ご本人欄		
ご本人氏名	生年月日		
要介護認定	無・有 要支援 1・2 要介護 1・2・3・4・5	障害者手帳	無・有
これまでに かかった 主な病名			
服薬中のおくすり			

#### ■その他(家族、友人、福祉関係等)

お名前		ご関係
電話番号		
備考		
お名前		ご関係
電話番号		
備考		
お名前		ご関係
電話番号		
備考		

## 所属団体 概要

### 委員名

小林 哲男

### 所属団体名

世田谷薬剤師会

### 所属団体の業務概要（沿革・組織・基本理念・その他特長など）

世田谷薬剤師会は区民に安全、安心に医薬品を使用できるよう啓発、及び医薬品供給を担い、会員薬剤師の専門性向上を目的とした組織

世田谷区を二分する玉川・砧薬剤師会とは協働関係にあり世田谷区としての共同事業等には一緒に参画もしている。

薬剤師職能及び薬局機能対策の充実

多職種と連携した在宅医療・介護提供体制の推進

医療保険及び介護保険事業の推進

医薬分業対策として

医師会・歯科医師会・行政等諸団体との連携強化、各種会合参加

地域基幹病院との薬薬連携

地域医療対策として

世田谷区休日夜間薬局の円滑な運営

世田谷区およびあんしんすこやかセンターと協力した地域での多職種連携

区民への広報

当会ホームページ及び東京都 GMISS をとうした会員薬局の情報公開

世田谷保健所と共同で行うイベント企画参画

災害時対策として

世田谷区部再会議への参加による医師会および行政との協力体制構築

災害時医療救護体制の整備及び備蓄医薬品の検討

## 所属団体 概要

### 委員名

田中 美佐

### 所属団体名

世田谷区内特別養護老人ホーム施設長会

### 所属団体の業務概要（沿革・組織・基本理念・その他特長など）

世田谷区内特別養護老人ホーム施設長会（以下「施設長会」）は、区内 30 カ所の特別養護老人ホーム（特養）の施設長で構成される自主組織です。

#### 1. 沿革：行政主導から「自主運営」の組織へ

かつては区の高齢福祉部門が招集する行政主導の集まりでしたが、2000 年の介護保険法施行に伴い、特養の運営が「行政による措置」から「利用者との契約」へと大きく変化しました。

これを受け、「施設長自らが主体となり、協力して区の高齢者福祉を向上させるべきである」という機運が高まり、2006 年 6 月、自主的な組織として現在の「世田谷区内特別養護老人ホーム施設長会」が正式に発足しました。

#### 2. 組織の現状

会員構成： 世田谷区内の全 30 施設・29 名の施設長（兼任含む）

主な活動： 年 3 回の総会開催、施設運営や介護の質向上を目的とした各種研修、情報交換、会員相互の親睦

#### 3. 基本理念と活動目的

施設長会は、施設管理者が直面する諸課題について率直に意見交換を行い、より良い施設サービスの実現に向けた検討・研究を行うことを目的としています。私たちの願いは、「世田谷区民が住み慣れた地域で支え合い、自分らしく安心して暮らし続けられる地域社会」を実現し、入所者の暮らしと権利を守り抜くことです。

#### 4. 本会の特徴と強み

現場視点の提言：現場のアンケートに基づき、昨今の厳しい経営情勢を分析し、具体的な数値や実態を把握しています。

積極的な働きかけ：収集した現場の声、数値や実態を基に、世田谷区や区議会に対し、制度改善や支援を求める要望・働きかけを積極的に行っています。

# 世田谷区内 特別養護老人ホーム施設長会からの提案



令和8年3月19日

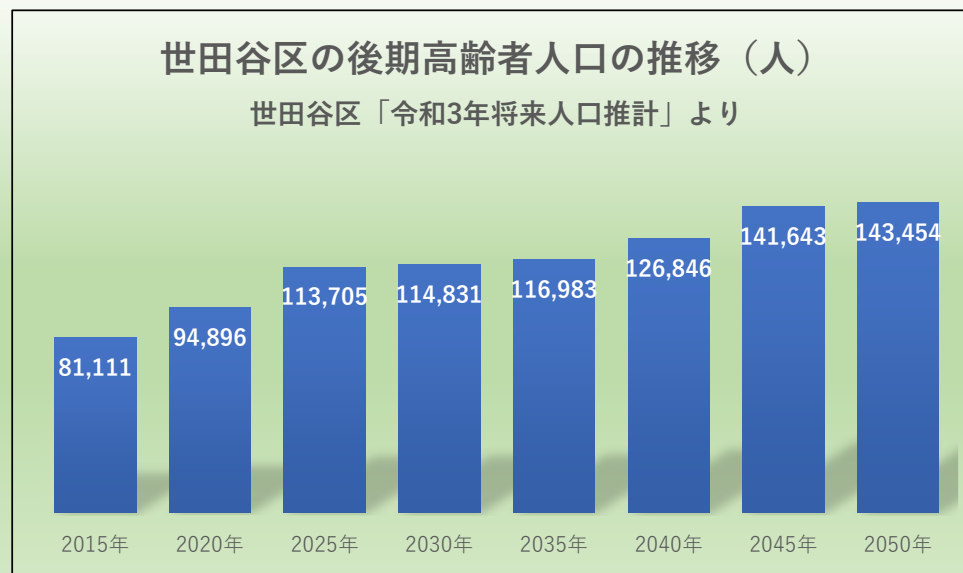
- 社会福祉法人大三島育徳会 副理事長  
特別養護老人ホーム博水の郷 施設長
- 世田谷区内特別養護老人ホーム施設長会  
会長 田中美佐

# 世田谷区内の高齢者人口と特養

■世田谷区内75歳以上（後期高齢者）の人口(世田谷区統計より)

2026年（令和8年）1月1日現在 110,807人（内要介護3以上13,908人）12.6%

2050年（推計） 143,454人



# 世田谷区内の特養の定員

---

■特養数 30施設 定員 2,223人

後期高齢者人口の2.1%

後期高齢者要介護3以上人口の16.0%

⇒今後の開設予定

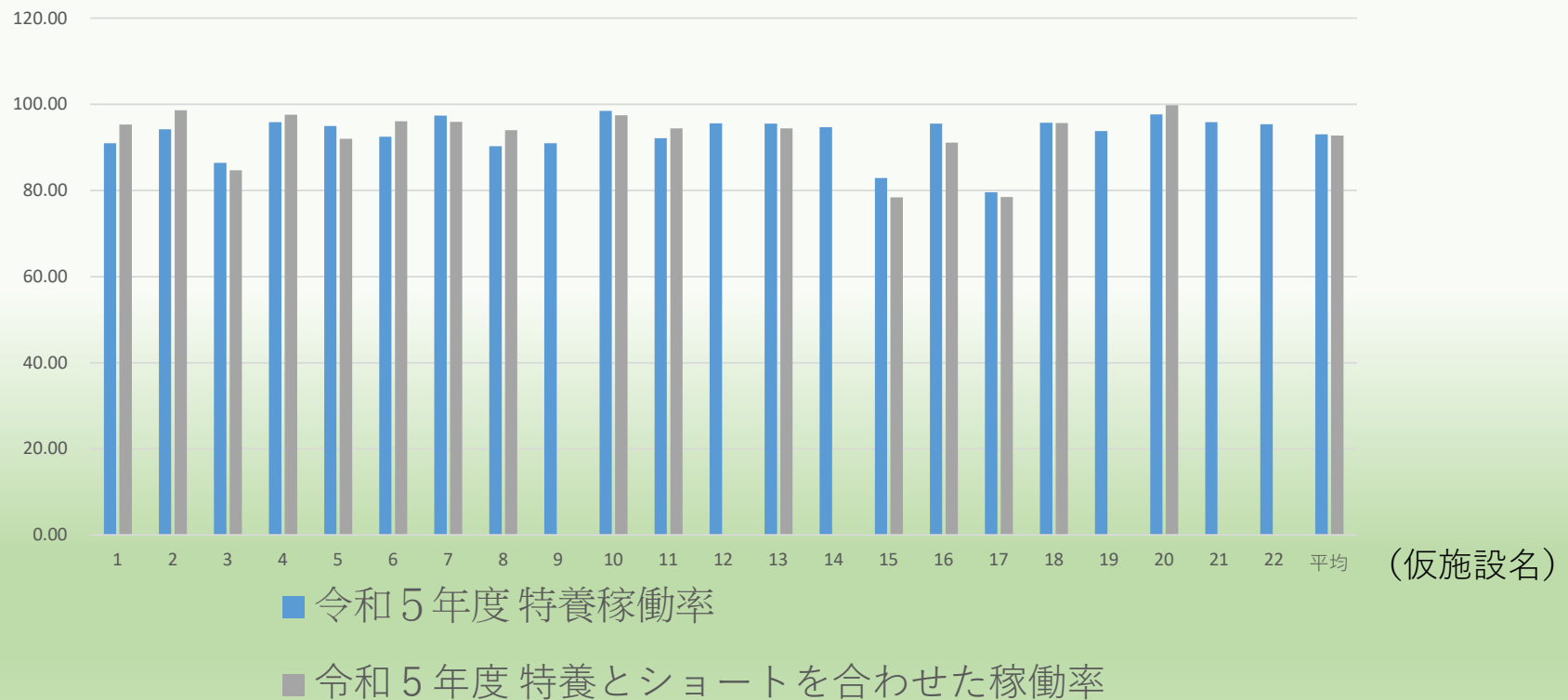
令和8年 6月1施設増 (29床) ⇒2,252床

令和8年10月1施設増 (100床) ⇒2,352床

世田谷区内の介護付き有料老人ホーム数 130施設前後  
サービス付き高齢者向け住宅 40施設前後 (民間資料による)

# 特養の稼働率

## 令和5年度の稼働率



令和6年7月特養29施設にアンケートを行ったところ22施設からの回答

## 稼働率5%上がると・・・

---

平均稼働率 93.0% × 2,223(床) = 2,067(床)

目標稼働率 98.0% × 2,223(床) = 2,178(床)

2,178(床) - 2,067(床) = 111(床)

つまり単純に考えると・・・



稼働が5%上がると100人以上の人が入所できる

# なぜ稼働があがらないのか・・・

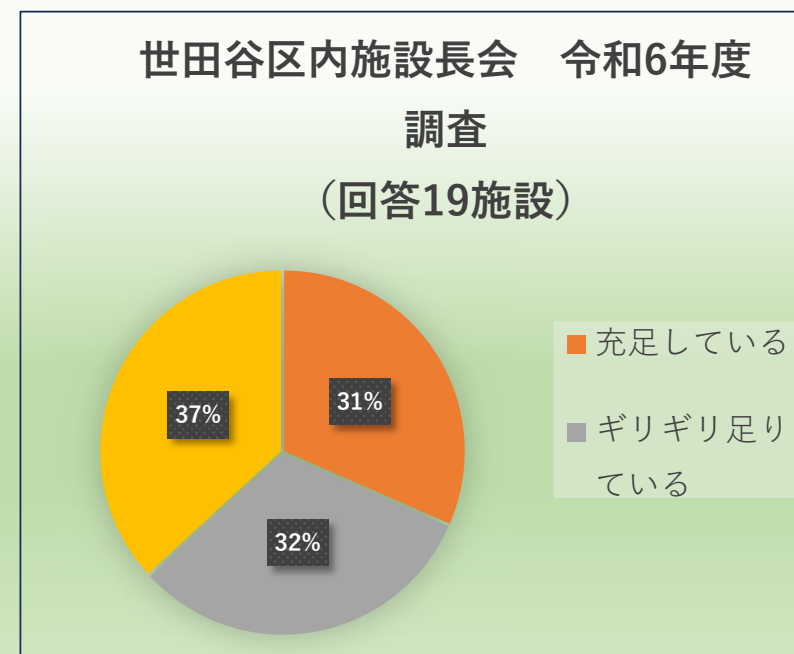
1. 職員が充足していない為、空床が出ても次の準備ができない
2. 待機者に声をかけてもすぐに入所につながらない
  - (1) 入所希望は出しているが、まだ時期ではないという理由
  - (2) 入所希望しているが、医療ニーズが高くと、入所に繋がらない
  - (3) 金銭的な理由で従来型を希望しているが、ユニット型だと躊躇する
  - (4) 保証人、身元引受人がいらない為、入所してもらうことが難しい
3. そもそも、特養への入所希望者が減っている
  - (1) 元気な高齢者が増えている
  - (2) 特養の費用が以前より増額しているため、在宅での介護を継続希望
  - (3) 世田谷区は日本で一番有料老人ホームが多いため、  
有料へ入所を希望する人も増えた

世田谷区内の介護付き有料老人ホーム数 130施設前後  
サービス付き高齢者向け住宅 40施設前後（民間資料による）
4. 特養の入所条件が要介護3以上。要介護3でも加算の関係で少し待ってもらうこともある

# 職員不足問題

1. 給与が他業界と月額8万円以上も違う  
公定価格のため給与が上がりにくい制度上の仕組み

2. 他業界との条件の違い。  
厳しい労働環境を敬遠する人もいる。  
労働人口が減っていく中  
介護職・業界の魅力が足りないことで  
就職希望者が少ない。



# 建て替え問題

---

## ■世田谷区内の特養のうち

設立20年以上の施設が14施設。(30年以上は6施設)

1施設だけ全面的に立替え済み

昨今の物価高による建築費の高騰と、労務費(人件費)の高騰のため  
建て替えや大規模改修が滞っている

## ■特養はこれまで、20年以上にわたり

それぞれの施設が地域の福祉の拠点となってきた。

新規の施設を作るより、既存の施設の継続に対する支援を要望

# 第10期計画に望むもの その1

---

## 1. 事業運営の基盤強化に対する支援

事業者が適切な利益を確保し、  
経営基盤を安定・強化させることは、  
安定的で持続可能なサービス提供のために必要である。  
区も、  
事業者が健全に運営を継続できる環境整備を支援する。

## 2. 採用力強化と定着支援の促進

事業者の経営力が向上することで、積極的な人材の採用・育成を目指す。  
今後も世田谷区福祉人材育成・研修センターの活動を後押しする。  
区も  
事業者が魅力ある職場づくりをするための支援をおこなう。

## 第10期計画に望むもの その2

### 3. 区の支援による労働環境の改善

働きやすい職場環境づくり

事故防止と安全なケアのための施策。

利用者に安心していただく、専門性の高いサービスの質の向上。

### 4. 区独自の処遇改善支援の実施

職員の処遇改善（給与水準の向上）のため

国や都の施策を伺いつつ世田谷区の実情に応じた  
区独自の支援策について検討・実施する。

- 1.ご利用者の命を守る
- 2.ご利用者の生活を守る
- 3.ご利用者の安全を守る
- 4.ご家族に安心していただく
- 5.ご家族の就労の継続



**全ては区内の高齢者のみなさまのため**

**世田谷区内特別養護老人ホーム施設長会は  
区内高齢者の皆様のご生活をご支援してまいります**

## 所属団体 概要

### 委員名

相川 しのぶ

### 所属団体名

世田谷ケアマネジャー連絡会

### 所属団体の業務概要（沿革・組織・基本理念・その他特長など）

#### 世田谷ケアマネジャー連絡会&基本理念

介護支援専門員が一人で悩まず、相談や研修を通じてケアマネの質の向上ができ、世田谷区に意見や相談や物事を共有できる、職能団体として、都内23区で最後から2番目2008年10月に設立

#### 会 員

事業所会員と個人会員の二つがあり、現在は事業所会員が63 個人会員20

#### 設立目的

介護支援専門員としての役割を十分認識し、会員相互の資質の向上を図ると共に、世田谷区介護保険事業の充実と適正な運営に寄与することを目的とする

#### 組織構成

会長1名 副会長2名 研修・交流推進委員会 2名 制度推進委員会・主任ケアマネ部会2名 広報・情報共有委員会2名 施設ケアマネ部会 2名  
会計 2名 会計監査 2名

#### 事 業

- 1 会員相互の活発な意見及び情報交換を行うこと
- 2 会員の意見を集約し、世田谷区介護保険事業の問題点、課題の提起や改善に向けた提案を保険者に行うこと
- 3 会員相互の資質の向上を図ること
- 4 その他、本会の目的達成に必要な事業を行うこと

#### 活 動

- ・令和7年5月8日 定期総会
- ・毎月第4火曜日 19:00～zoomにて定例役員会
- ・毎月第3火曜日 19:00～
- ・研修・交流推進委員会 5地区で研修開催
- ・制度推進委員会・主任ケアマネ部会 年2回 研修開催
- ・広報・情報共有委員会 ホームページの更新等
- ・施設ケアマネ部会 毎月第3水曜日 zoomで部会開催



# 世田谷ケアマネジャー連絡会

相川 しのぶ

世田谷ケアマネジャー連絡会は、介護支援  
専門員が一人で悩まず、相談や研修を通じ  
てアマネの質の向上ができ、世田谷区に意  
見や相談や物事を共有できる、職能団体と  
して、都内23区で最期から2番目2008年  
10月に設立致しました

現在 事業所会員 68 個人会員 20

# 介護支援専門員の役割

要介護者の尊厳の保持を理念とした自立支援を実現するには、居宅介護支援事業所に所属するケアマネジャーによる適切なケアマネジメントが不可欠であり、その資質向上が不断に求められている

これまでもケアマネジャーの専門性の確立という観点から、研修の強化が図られるとともに、資格の更新制の導入や更新時の研修の義務づけなどの見直しが行われてきたことは記憶に新しい

## 設立目的

介護支援専門員としての役割を十分認識し、会員相互の資質の向上を図ると共に、世田谷区介護保険事業の充実と適正な運営に寄与することを目的とする

# 事業

1. 会員相互の活発な意見及び情報交換を行うこと
2. 会員の意見を集約し、世田谷区介護保険事業の問題点、課題の提起や改善に向けた提案を保険者に行うこと
3. 会員相互の資質の向上を図ること
4. その他、本会の目的達成に必要な事業を行うこと

# 会 員

1.世田谷区民のプランを担当している個人又は居宅介護支援事業所のケアマネジャー

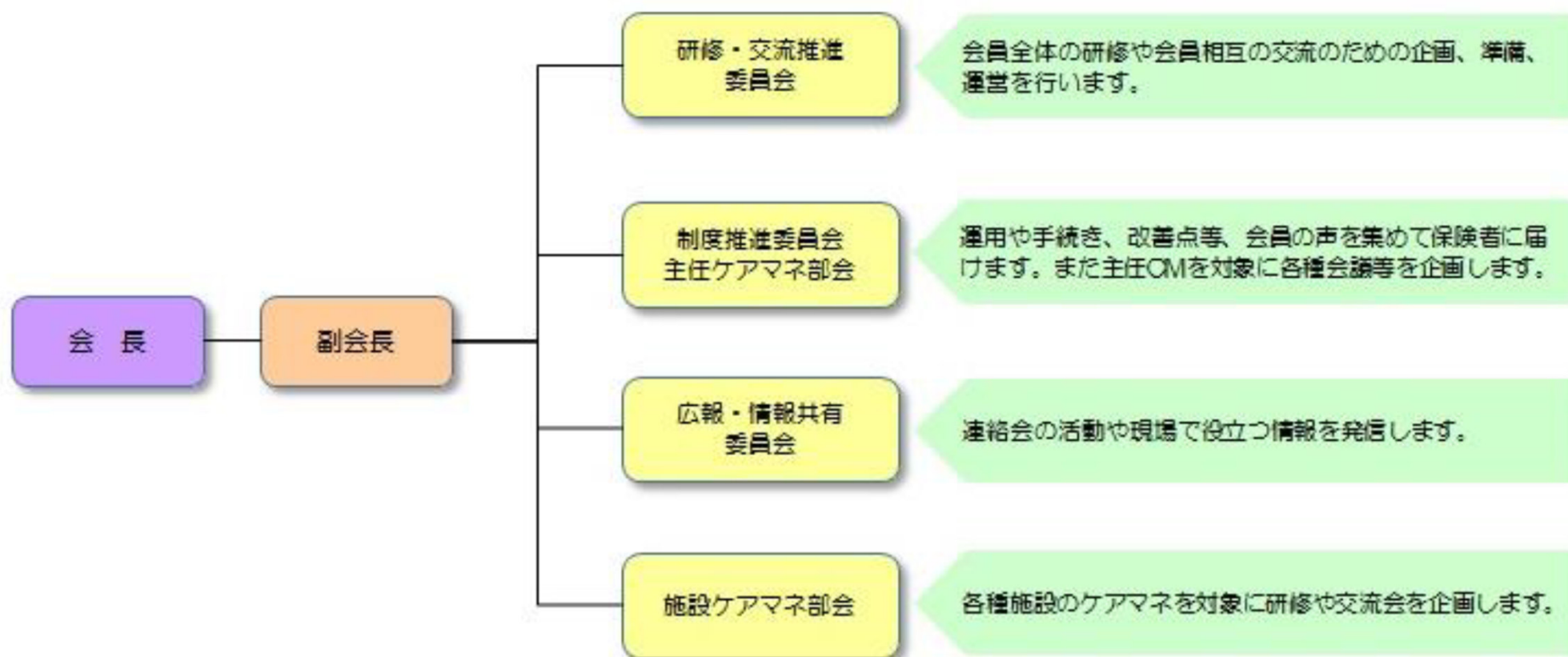
2.区内勤務の有資格者

3.区内在住の有資格者

# 会費

- ・会費は、個人会員は年額2,000円、事業所会員は年額5,000円とし、定められた方法によって納める
- ・年度途中の会員登録の場合も同額
- ・会費は運営費用等に充て、事業実施毎に必要な費用が発生した場合は、参加者より徴収する

## 組織体制



# 令和7年度 活動報告

- ・ 令和7年5月8日（木） 定期総会&基調講演
- ・ 毎月第4火曜日 19:00～zoomにて定例役員会
- ・ 毎月第3火曜日 19:00～
- ・ 全体研修（災害研修含む）年2回開催
- ・ 研修・交流推進委員会 5地区で研修開催
- ・ 制度推進委員会・主任ケアマネ部会 年2回 研修開催
- ・ 広報・情報共有委員会 ホームページの更新等
- ・ 施設ケアマネ部会 毎月第3水曜日 zoomで部会開催

# 活動における課題

- インターネット普及により研修会への参加者集めが困難になっている
- 保健・医療・福祉の課題は地域ごとに異なり、一般化された情報では対応できない
- 人材不足の解決
- ケアマネジャーのシャドーワーク
- 困難ケース支援の対応
- 地域のプラットフォーム作りのための横のつながりができているか
- 地域に根ざした実践知の共有と、現場の声を行政に届けることが職能団体の使命だが、まだまだ不十分

# 世田谷区居宅介護支援事業所等

## 調査結果（案）から見える現状

世田谷区高齢福祉部、世田谷区福祉人材育成・研修センター、世田谷ケアマネジャー連絡会



世田谷区内の居宅介護支援事業所等

420事業所



222事業所 回収率 52.9%

## 課題につながる項目

- ケアマネジャーの年代、ケアマネジャーの人数
- ケアマネジャーの依頼を断ったこと
- ケアプランに位置づけられなかったサービス
- ケアマネジメント上の課題
  - ①業務量が多い
  - ②家族の理解
  - ③シャドーワーク
  - ④精神的負担

➡ 人材不足

# 課題に対する解決策

- ・ 研修の参加率向上⇒業務に繋がる内容
- ・ 人材不足の解消⇒働きやすい環境
- ・ ケアマネジャーのシャドーワーク
  - ① 本来業務を超えた対応を担っているが、誰が何を担うべきか役割分担を明確にする
  - ② フォーマル/インフォーマルサービスの整理と中間的支援体制の構築が必要
- ・ 困難ケースに対する支援⇒包括だけでなく行政支援も

# 第10期介護保険事業計画への提言

- これまでの計画は理念・方向性は良く整理されているが、住民や現場の専門職に十分伝わっていない可能性
- トップダウンとボトムアップの視点を融合させた、実効性の高い計画づくりが必要
- 住民や専門職の声を積極的に取り入れ、「自分たちの計画」として実感される計画を期待
- 現場からの具体的課題の解決

## 具体的な課題

### • 多機関連携の問題点

- キーパーソン不在、家族機能不全、未治療の精神疾患等、介護保険だけでは解決できない複雑なケースが増加
- 相談から支援開始まで時間がかかりすぎる(地域ケア会議、虐待対応会議、重層支援会議等の振り分けに時間を要する)
- 相談窓口が包括経由に限定され、入口が狭い
- 改善策として、多機関連携の入口整理、プロセス簡素化、迅速な検討の仕組みづくりを提案

## 最後に

- 私たちケアマネジャーの未来は、私たちが自ら行動し、保険者及び多職種と連携を行い実践していくことです

## 所属団体 概要

### 委員名

馬場安彦

### 所属団体名

世田谷区歯科医師会

### 所属団体の業務概要（沿革・組織・基本理念・その他特長など）

世田谷区歯科医師会では世田谷区と協力して、区民の皆様に、年齢等に応じて様々な健診等を実施しております。歯は誰もが一生つきあっていく大切なもの。私たち歯科医が、生まれてから高齢に至るまで、世代を越えてサポートします

お口の元気アップ教室（65歳以上でお口の機能等に不安がある方）

固いものが食べにくい、お茶等を飲むとむせる、口の渇きが気になるなど、お口の機能に不安がある方々を対象に、機能低下を予防するため、食べる、飲み込む、話すといった口腔機能を調べたり、口腔機能を維持するための知識や方法を学んでいただく教室です。唾液腺マッサージ、健口体操、手の体操、唇と舌の運動、等を楽しんでいただきます。

すこやか歯科健診 各地域包括支援センター(あんしんすこやかセンター)等のケアマネジャーを通して受診券を受け取った方

口腔ケアは、高齢者の全身の健康づくりに役立ちます。「噛む」ことは、脳の働きを活性化し、認知機能低下の予防につながるといわれています。また、しっかりとした歯と噛み合わせは、身体のバランスを保ち、転倒予防にもつながります。さらに、栄養状態が良くなり、免疫力が向上することも期待されています。75歳以上の方または75歳未満の方であんしんすこやかセンター職員・ケアマネジャーが、認知機能の低下を「基本チェックリスト」の認知機能に関する項目で確認した方が全員受けられますので、お近くのあんしんすこやかセンターへご相談ください。

訪問かかりつけ歯科医紹介

在宅で療養している通院困難な方を対象に訪問歯科診療も行っております。訪問診療のかかりつけ歯科医を紹介します。場所 成人歯科健診 歯の診査・歯周組織の診査・口腔粘膜の診査・顎関節の診査・義歯の診査。成人歯科健診を行なった後、歯周病の指導が必要な方は歯周疾患改善指導を受けることができます。世田谷区歯科医師会会員の診療所（受診券に診療所名簿が同封されてきます）名簿にない診療所では受診することができません。歯科医師会までご連絡ください。

**第2回高齢者福祉・介護保険部会  
2026年3月19日**

**世田谷区歯科医師会 資料**

**在宅特養木一ム委員会  
理事 馬場 安彦**

# 馬場 安彦(ババ ヤスヒコ)

## ●現職

医療法人社団 恵安会 理事長  
明海大学歯学部客員教授  
世田谷区歯科医師会在宅特養ホーム担当理事  
東京歯科保険医協会地域医療部担当副会長  
歯科医学教育国際支援機構(OISDE) 理事

## ●経歴

1990年3月 明海大学歯学部歯学科卒業  
1990年5月 第83回歯科医師国家試験合格  
1992年5月 明海大学歯科学部 P.D.I入間歯科診療所 卒所  
1997年3月 明海大学歯学部歯学研究科にて歯学博士を受領(甲120号)  
2012年5月 日本歯周病学会認定医  
2017年6月 東京歯科保険医協会副会長  
2021年4月 世田谷区介護認定審査会委員



東京歯科保険医協会のホームページはこちら→  
QRコードを読み取ってください。





## 成人歯科健診

有料

世田谷区在住で20、30、40、45、50、55、60、65、70歳の全区民4月から翌年3月までの1年間に上記年齢になる区民の方が対象です。

20・30・40・50・60・70歳の方には世田谷区から受診券が郵送されます。

45・55・65歳の方には送付されませんので、直接世田谷区に申請してください。

歯の診査・歯周組織の診査・口腔粘膜の診査・顎関節の診査・義歯の診査。成人歯科健診を行なった後、歯周病の指導が必要な方は歯周疾患改善指導を受けることができます。

場所 世田谷区歯科医師会会員の診療所（受診券に診療所名簿が封入されてきます）名簿にない診療所では受診することができません。

からだの健康は歯と密つきから。健康で明るく元気に生活し、実り豊かな生涯を過ごすためには、「口腔の健康」が不可欠です。5年に一度の健診の機会を是非ご利用ください。



## 訪問かかりつけ歯科医紹介

在宅で療養している通院困難な方を対象に訪問歯科診療も行っております。

訪問診療のかかりつけ歯科医を紹介します。

歯科医師会までご連絡ください。



## 口腔がん検診

有料

世田谷区在住で61歳・66歳・71歳の方

世田谷区歯科医師会では大学病院の口腔外科専門医と歯科医師会会員が協力して「口腔がん検診」を6月から翌年3月まで実施しています。

お口の中に不安のある方、すでにがん治療をお受けになった方でお口のトラブルをかかえている方もお気軽にお申し込みください。

場所 口腔衛生センター

口にも体の他の部位と同様にがん（口腔がん）が発生することは意外に知られていません。しかし、近年その数は増加しています。

口腔がんは早期発見、早期治療によりほとんど障害を残さないで治療できる病気で定期的な検診が大切です。



## 訪問口腔ケア健診 無料

世田谷区に在住で歯科医院に通院困難な方のうち、下記の(1)から(4)に該当する方です。

- (1)介護保険要介護認定1～5
- (2)身体障害者手帳1、2級
- (3)要の手帳1、2度
- (4)その他(1)から(3)に準じる方で、世田谷区が特に必要と認めた方

外出が困難な在宅障がい者等の方々の、お口の中の状態を継続的に把握することにより、口腔衛生の維持と誤嚥性肺炎予防等のご相談をおうけします。

お口に関して34項目にわたり健診を行い世田谷区より郵送された健診票に健診結果を記載して必要に応じて改善指導を行います。



## 歯っぴいフェスタ 世田谷

世田谷区歯科医師会では、年一回、歯っぴいフェスタ世田谷を開催し、8020達成者(80歳以上で20本以上の歯がある方)で世田谷区歯科医師会会員の推薦を受けた方へ表彰を行っています。



## お口の元気アップ教室 無料 介護予防事業

65歳以上でお口の機能等に不安がある方

固いものが食べにくい、お茶等を飲むとむせる、口の渇きが気になるなど、お口の機能に不安がある方々を対象に、機能低下を予防するため、食べる、飲み込む、話すといった口腔機能を調べたり、口腔機能を維持するための知識や方法を学んでいただく教室です。唾液腺マッサージ、健口体操、手の体操、唇と舌の運動、等を楽しんでいただけます。

場所 世田谷区歯科医師会3階(梅丘)、成城ホール 等

申込み: せたがやコール(☎03-5432-3333)にて受付

## すこやか歯科健診 高齢者歯科健診 無料

各地域包括支援センター(あんしんすこやかセンター)等のケアマネジャーを通して受診券を受け取った方

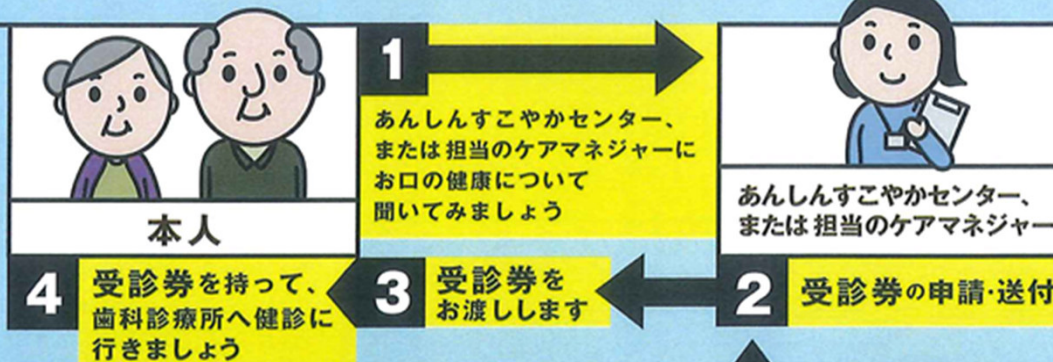
口腔ケアは、高齢者の全身の健康づくりに役立ちます。「噛む」ことは、脳の働きを活性化し、認知機能低下の予防につながるといわれています。また、しっかりとした歯と噛み合わせは、身体のバランスを保ち、転倒予防にもつながります。さらに、栄養状態が良くなり、免疫力が向上することも期待されています。75歳以上の方または75歳未満の方であんしんすこやかセンター職員・ケアマネジャーが、認知機能の低下を「基本チェックリスト」の認知機能に関する項目で健診した方が全員受けられますので、お近くのあんしんすこやかセンターへご相談ください。

世田谷区の「すこやか歯科健診」は、医療と介護の連携のもとで、  
あんしんすこやかセンターやケアマネジャーが  
高齢の方を適切な口腔ケアや歯科治療につなぐものです。

# 75歳 になったら **無料** すこやか歯科健診を 受けましょう!!

高齢の方にとって、お口の健康を維持することは、栄養状態がよくなり、  
誤嚥性肺炎の予防になるなど、全身の健康づくりに役立ちます。  
歯科健診を受けて治療が必要かどうかや、必要なお口のケア等について  
歯科医師に相談してみましょう。

受診の



# 訪問

年度内に1回、無料で  
受けられます

# 口腔ケア健診

**在宅でねたきり等のため外出できない方で、  
次のいずれかに該当する区民の方**

対象者

- 介護保険要介護認定1～5
- 身体障害者手帳1・2級
- 愛の手帳1・2度
- その他上記に準ずる方

こんなことでお困りではありませんか？

- 義歯が合わなくなった、噛みにくい
- 食事中むせやすい、飲み込みにくい
- 口の臭いが気になる、口が渴く
- 詰め物が取れた
- 食べこぼしが多くなった
- 口腔ケアの方法がわからない



申し込み

世田谷保健所健康推進課へ電話またはFAXでお申し込みください。

TEL 03-5432-2442 FAX 03-5432-3102

裏面の「訪問口腔ケア健診票送付依頼書」がご利用いただけます

# お口の元気アップ教室

チェックがついた方は、  
お口の健康について学びませんか？

- 長かったマスク生活で自分の表情が気になる…
- お口の渇きが気になる…
- お茶や汁物でむせやすくなったな…
- おいしく食事をしたい！
- 固い物が食べにくくなった…

元気な歯で  
おいしく食べよう！

## ●内 容

お口のはたらきについて、誤嚥性肺炎予防、  
お口の清掃方法の指導、お口の体操等

## ●対 象

◇ 65歳以上で世田谷区民の方

◇ お口の機能等に不安のある方

(固いものが食べにくい、お茶等を飲むとむせる、口の渇きが気になる等)

◇ 会場までお一人で行くことができる方

◇ 原則全回参加できる方 (初めての方優先)

## ●会 場

北沢タウンホール スカイサロン (世田谷区北沢2-8-18)

※会場・日程の詳細は、裏面をご参照ください。

## ●申込方法

お電話またはFAXで ☎ せたがやコールへお申込みください。



参加費  
無料

